

木津川市子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果の概要

I 調査の方法等

■調査の種類と調査方法等

調査の種類	就学前子ども保護者調査	小学生保護者調査
調査の方法	①保育所・幼稚園に通う子どもの保護者全ての方に手渡して配布し、回収も施設を通じて実施。 ②子育て支援センター及びつどいの広場の利用者の方の中から抽出し手渡して配布し、回収も施設を通じて実施。	①各小学校の2年生及び5年生を対象に手渡して配布。ただし、梅美台小学校は2年生のみ、州見台小学校は5年生のみ配布。回収はいずれも小学校を通じて回収。
調査の期間	平成25年11月6日（水）～11月22日（金）までを基本とし、12月初旬まで回収。	
配布数	2,900件	1,400件
有効回収数	1,639件	1,012件
有効回収率	56.5%（参考：前回64.8%）	72.3%（参考：前回73.1%）

注) 今回の調査は、保育所や幼稚園、小学校に子どもが複数通っている場合は、下の子どもについて回答していただいたため、有効配布数は子どもの数ではなく世帯となっている。したがって、実際の有効回収率はもう少し高くなるものと見込まれる。

■調査による就学前子どもと母集団の年齢構成の比較

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
調査 (N=1,619)	88 5.4	141 8.7	184 11.4	297 18.3	474 29.3	435 26.9
人口 (N=4,890)	710 14.5	755 15.4	793 16.2	774 15.8	946 19.3	912 18.7

注) 調査のN=1,619は、平成25年4月以降に生まれた0歳の子ども12人と、無回答の8人を引いた人数

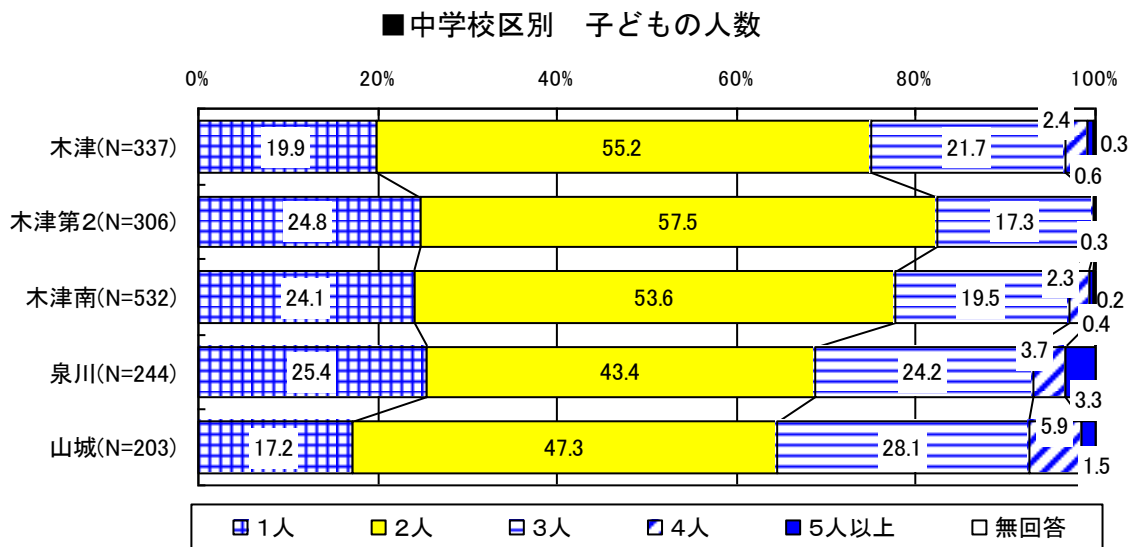
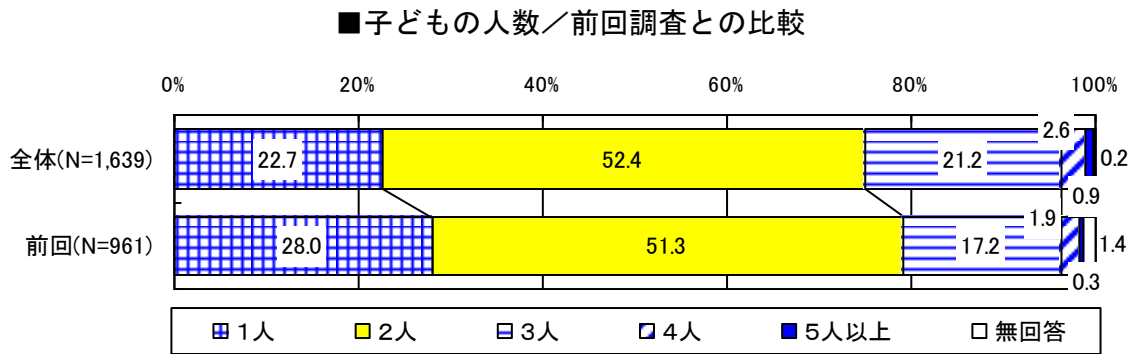
■調査による小学生と母集団の年齢構成の比較

	2年生	5年生
調査 (N=1,012)	500 49.4	511 50.5
人口 (N=1,732)	861 49.7	871 50.3

Ⅱ 就学前子ども保護者調査

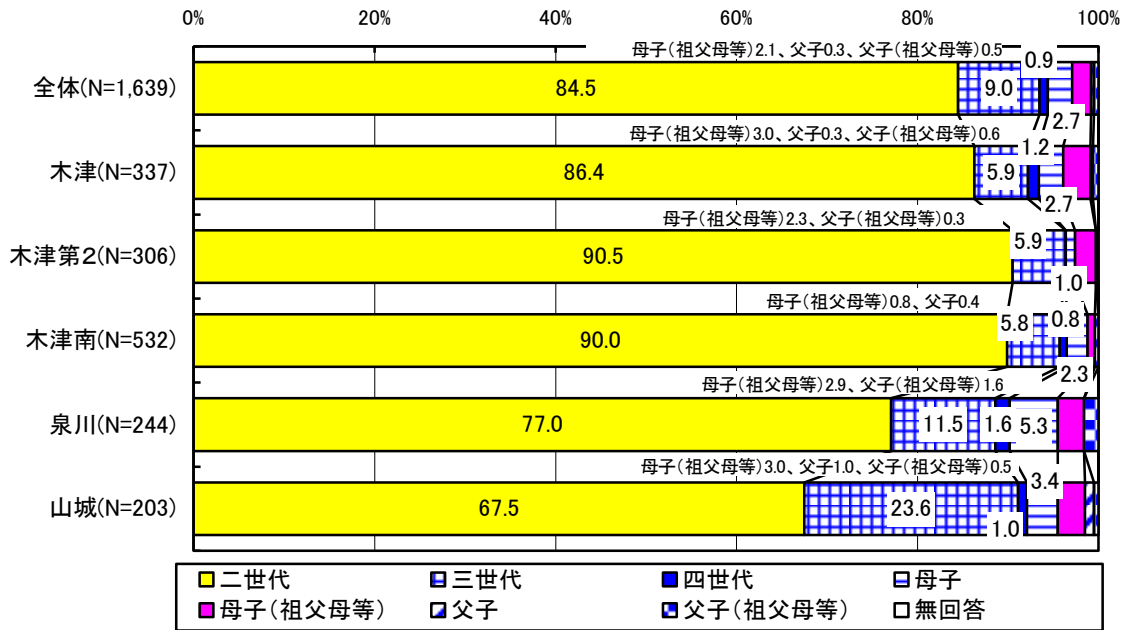
1 子どもと家族の状況

- ① 1世帯の子どもの人数は、前回調査（平成21年2月実施の次世代育成支援に関する二
ーズ調査のこと。以下同様）より多い傾向に。泉川・山城中学校区では【4人以上】の
率が高い。平均2.07人、最大8人。



- ② 親と子の「二世帯」世帯が全体では84.5%を占めるが、泉川・山城中学校区ではそ
れぞれ77.0%、67.5%と低く、代わって「三世帯」及び「四世帯」の率が高い。また、
ひとり親世帯率は全体では5.6%となっているが、泉川・山城中学校区ではそれぞれ
9.8%、7.9%と高い（木津は6.6%、木津第2は3.6%、木津南は3.5%）。

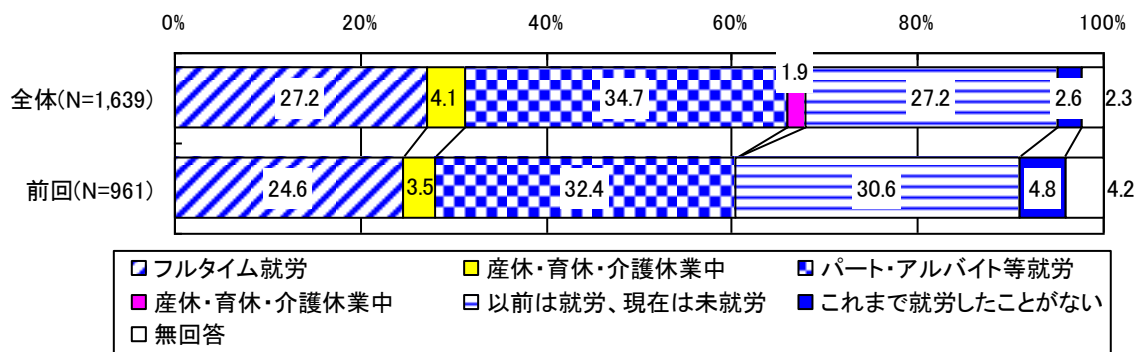
■ 中学校区別 同居の世帯類型



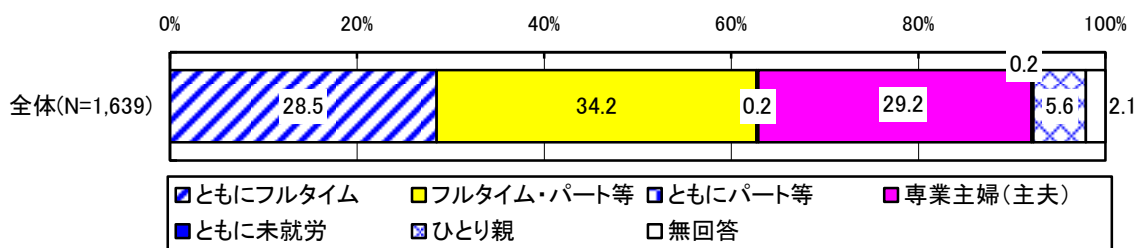
2 母親と父親の就労状況

- ① 母親の就労状況では、フルタイム、パート・アルバイト等の率はともに前回調査より高くなり、就労率は合わせて67.9%となっている（前回調査が60.5%）。父親の就労率は93.2%で、前回調査の91.5%をわずかながら上回る。

■ 母親の就労状況／前回調査との比較

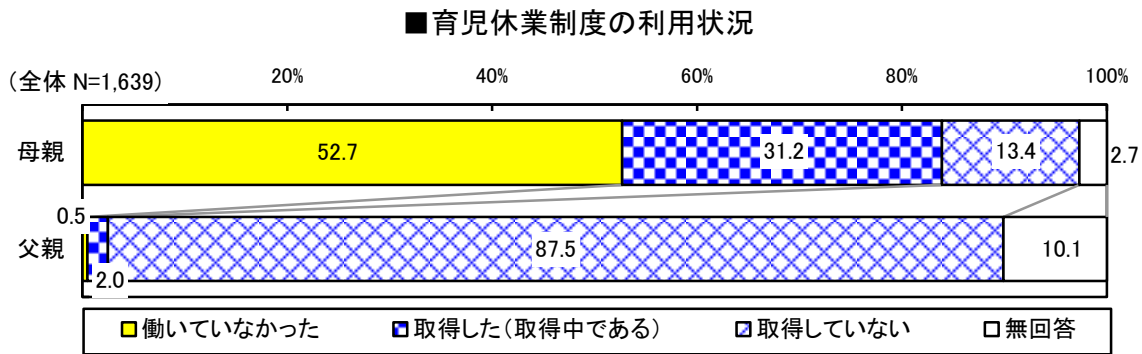


■ 母親と父親の就労状況による家庭類型

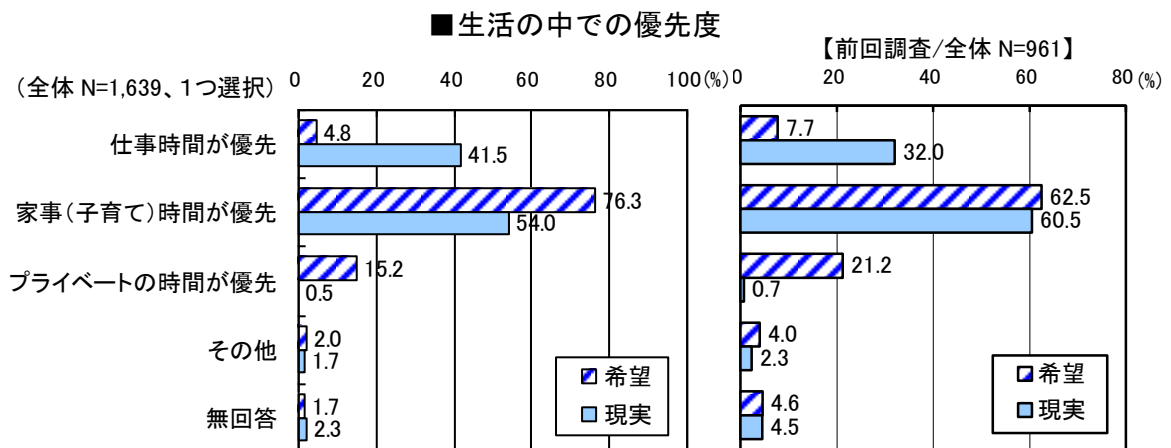


3 仕事と子育ての両立支援について

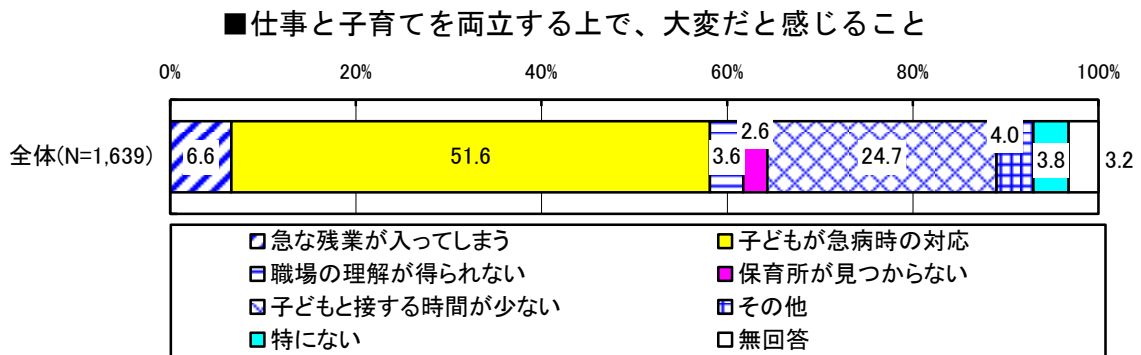
- ① 育児休業制度の利用状況では、育児休業を「取得した（取得中である）」は母親が31.2%で、前回調査の24.6%より高い。また、父親は2.0%で、前回調査の0.2%よりも高い。



- ② 生活の中での優先度としては、現実の「仕事時間が優先」は41.5%で、前回調査の32.0%より高く、一方、現実の「家事（子育て）時間が優先」は54.0%で、前回調査の60.5%より低い。

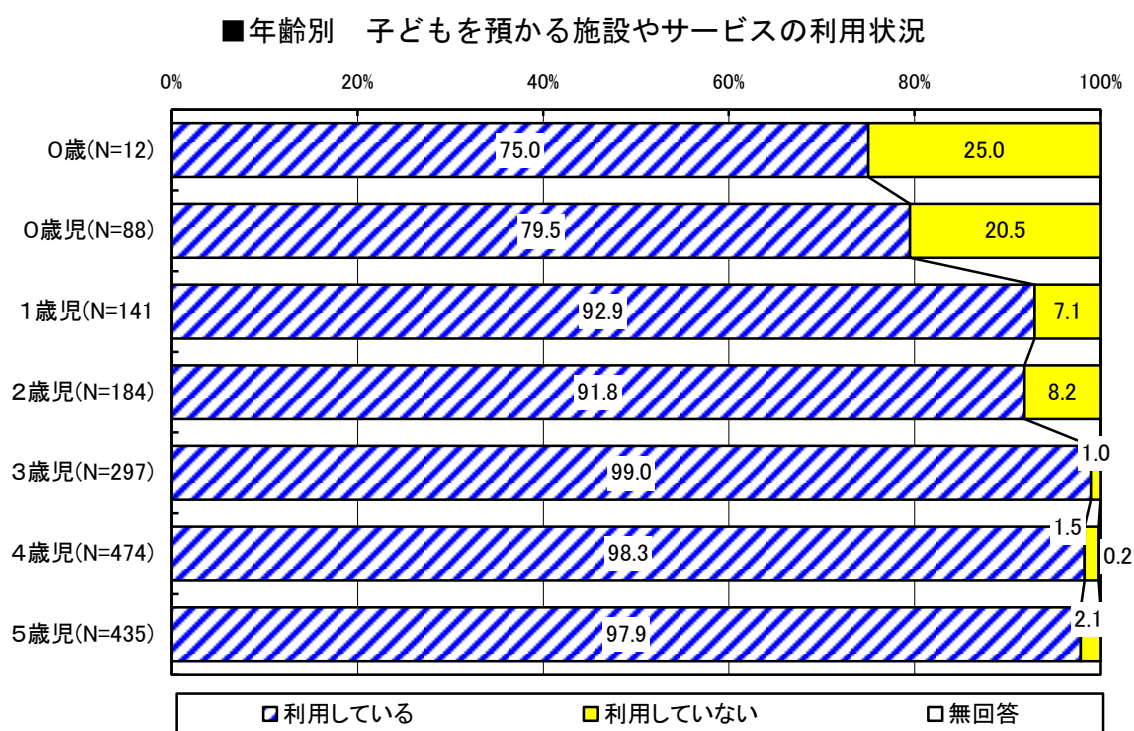
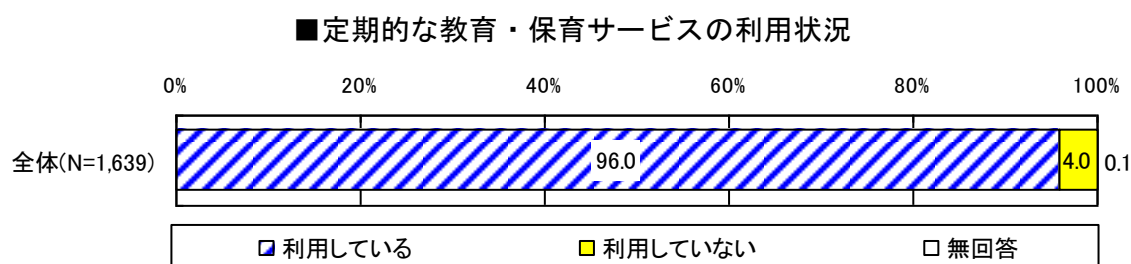


- ③ 仕事と子育てを両立する上で、大変だと感じることは、「子どもが急病時の対応」が51.6%でトップ、次いで「子どもと接する時間が少ない」が24.7%など。



4 教育・保育サービスの利用状況と利用意向

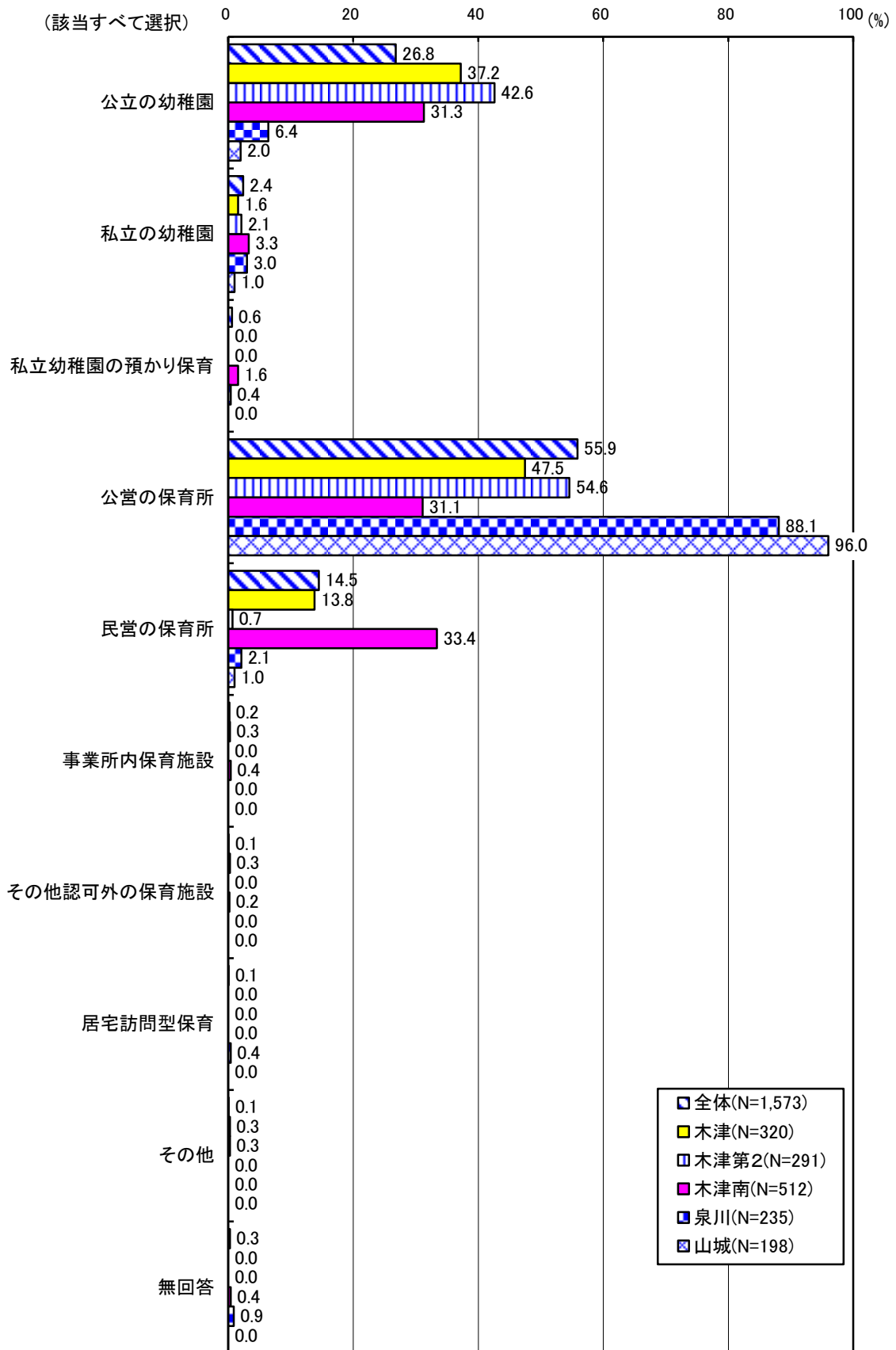
- ① 基本的に施設を通しての調査の実施のため、教育・保育サービスを定期的に利用している率は96.0%と高い。3歳児以上は特に高い。



- ② 全体では「公営の保育所」が55.9%で最も高く、「公立の幼稚園」が26.8%、「民営の保育所」が14.5%、「私立の幼稚園」が2.4%、「私立幼稚園の預かり保育」が0.6%などで、合わせて【保育所】が70.4%、【幼稚園】が29.2%。

「公営の保育所」の利用率は中学校区で大きく異なり、山城や泉川ではそれぞれ96.0%、88.1%と高い。また、木津南では「公立の幼稚園」(31.3%)、「公営の保育所」(31.1%)、「民営の保育所」(33.4%)が分散している。

■中学校区別 現在利用している施設やサービス

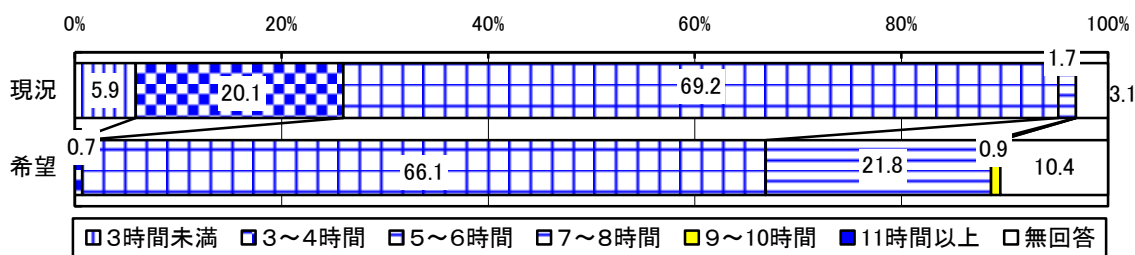


注)「認定こども園」の利用はないため、グラフを省略。

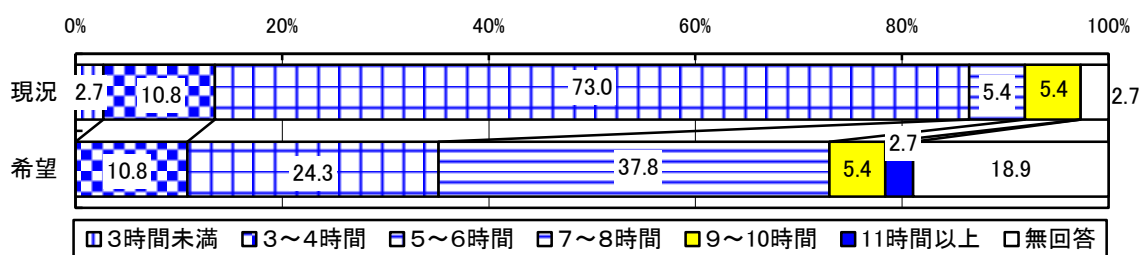
③ 幼稚園や保育所の希望利用時間は現在よりも長い時間を希望。

■主な教育・保育サービス別 1日当たりの利用時間と希望時間

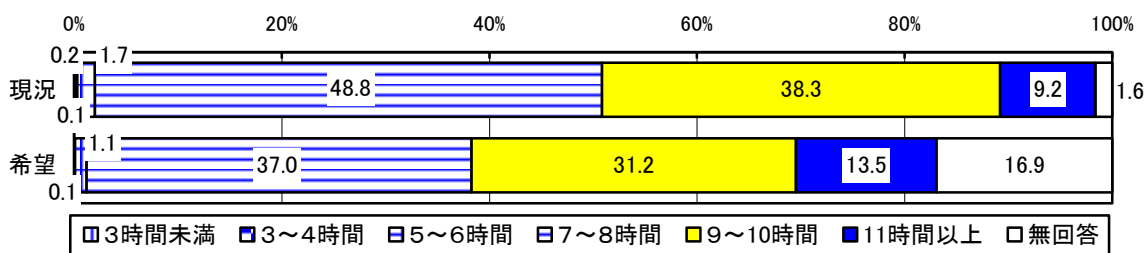
<公立の幼稚園 (N=422)>



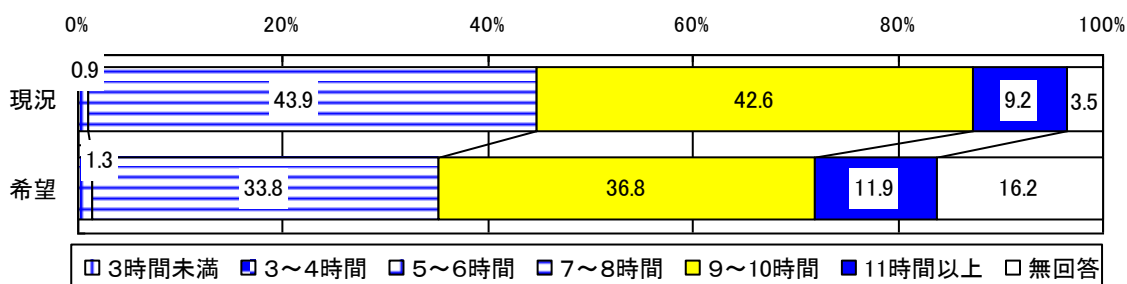
<私立の幼稚園 (N=37)>



<公営の保育所 (N=880)>



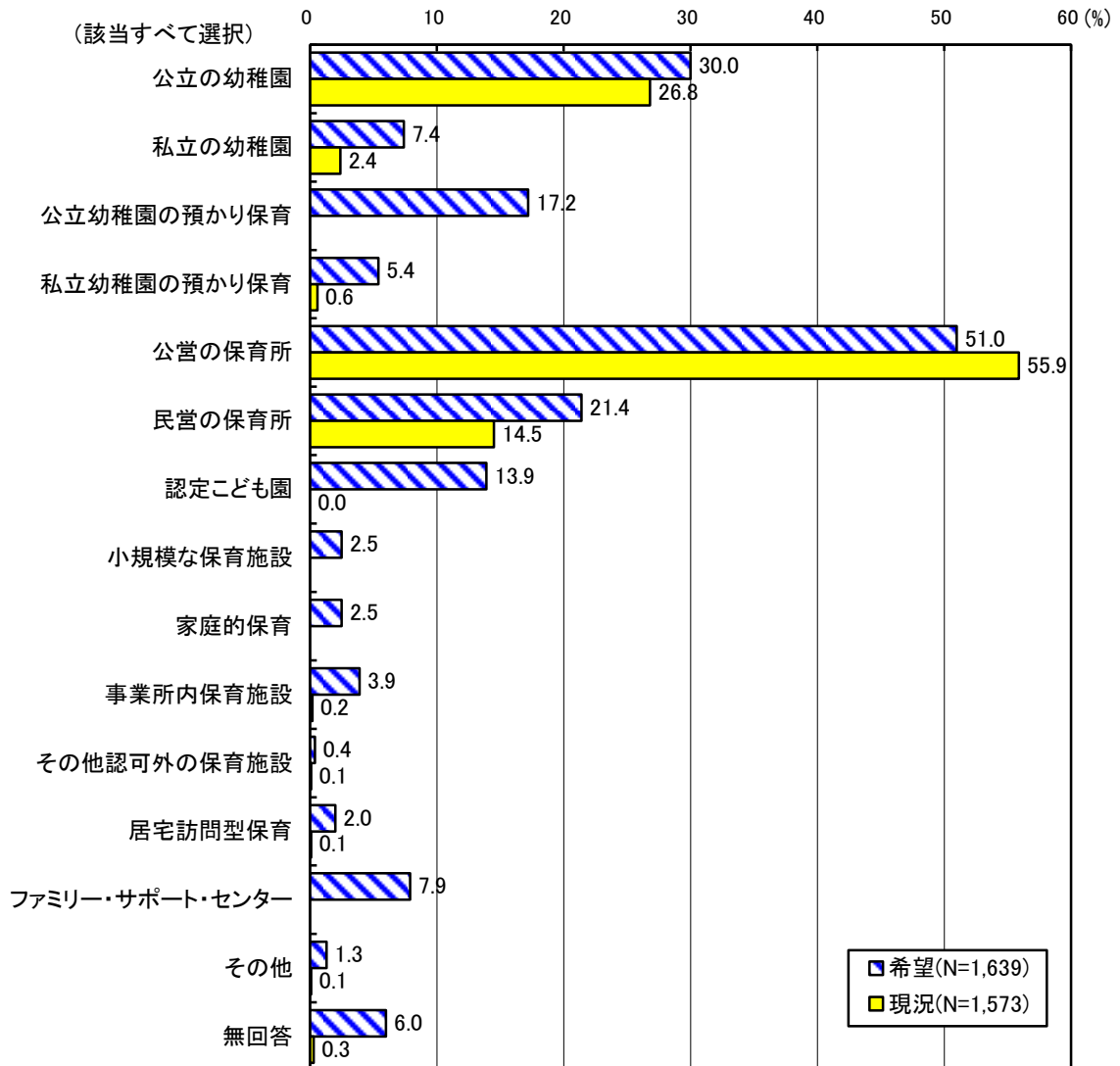
<民営の保育所 (N=228)>



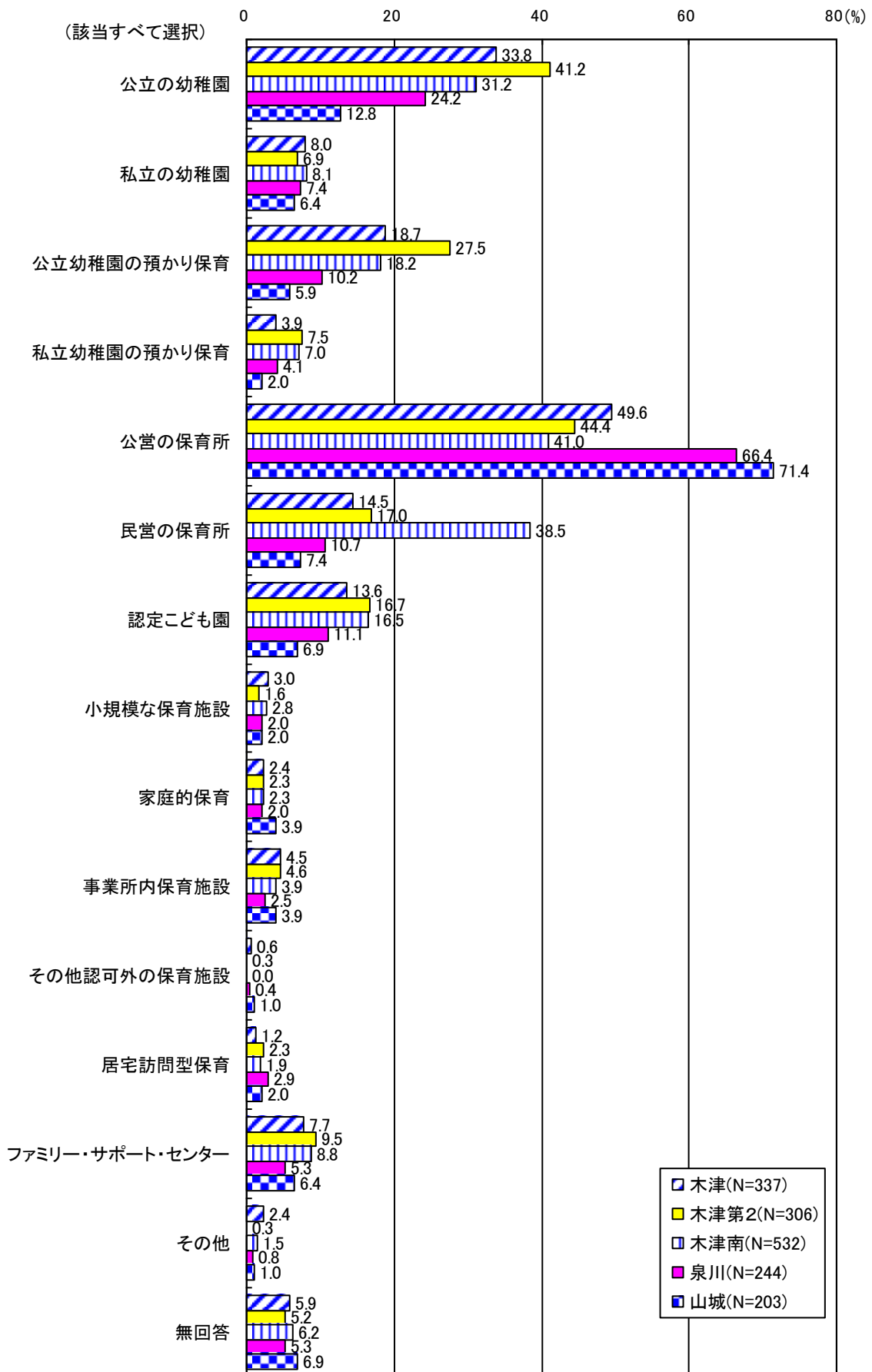
④ 今後定期的に利用したいと考える教育・保育サービスは、「公営の保育所」が51.0%、「公立の幼稚園」が30.0%、「私立の幼稚園」が21.4%、「公立幼稚園の預かり保育」が17.2%、「認定こども園」が13.9%などで、「公営の保育所」以外は現在の利用率をそれぞれ上回る。

「認定こども園」は、木津川市ではこれまでなかったサービスであるが、中学校区別の利用希望では、木津第2と木津南でそれぞれ16.7%、16.5%と高い。

■ 今後定期的に利用したい教育・保育サービス／現在の利用状況との比較



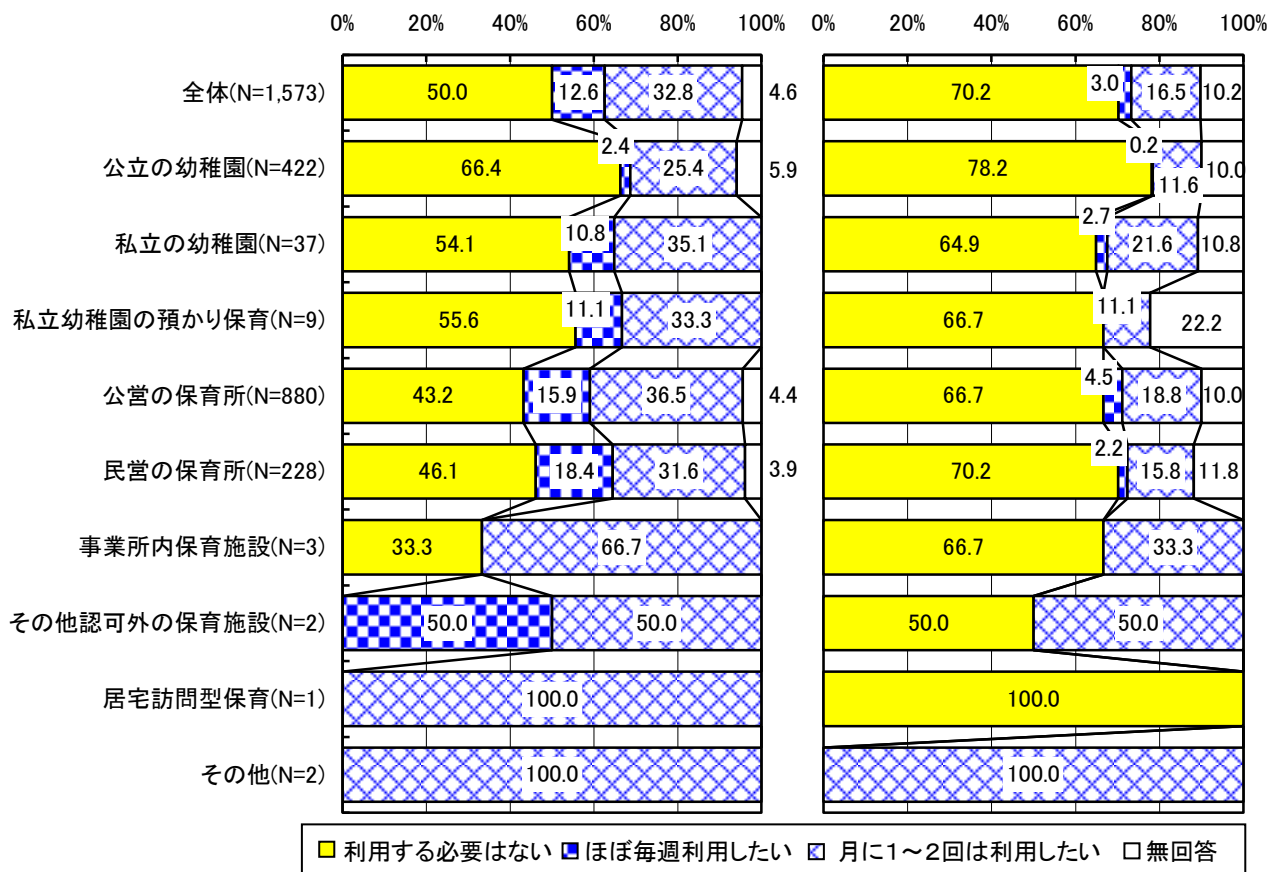
■中学校区別 今後利用したい教育・保育サービス



5 幼稚園や保育所などの土・日や長期休業中の利用希望

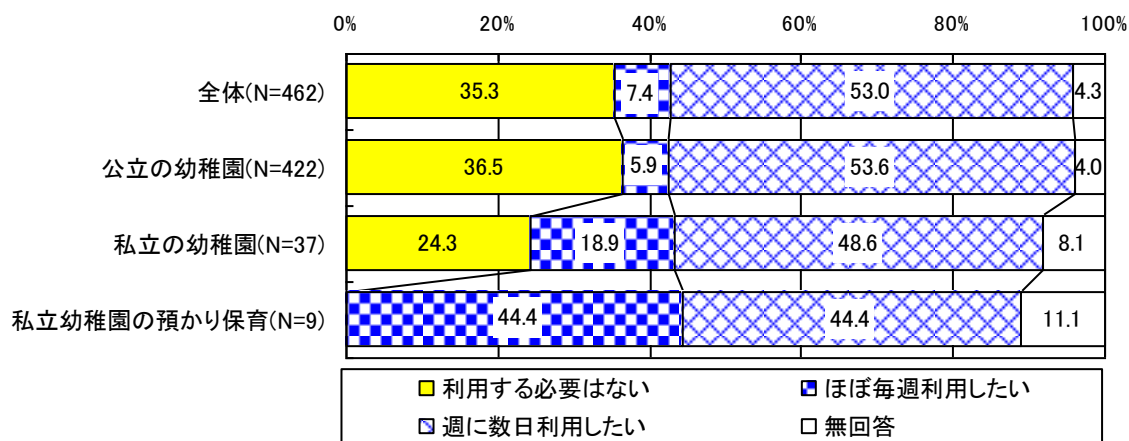
- ① 全体では、土曜日に「ほぼ毎週利用したい」が12.6%、「月に1～2回は利用したい」が32.8%で、合わせて【利用したい】は45.4%。日曜・祝日に「ほぼ毎週利用したい」が3.0%、「月に1～2回は利用したい」が16.5%で、合わせて【利用したい】は19.5%。

■ 現在利用の教育・保育サービス別 土曜日の利用意向及び日曜・祝日の利用意向



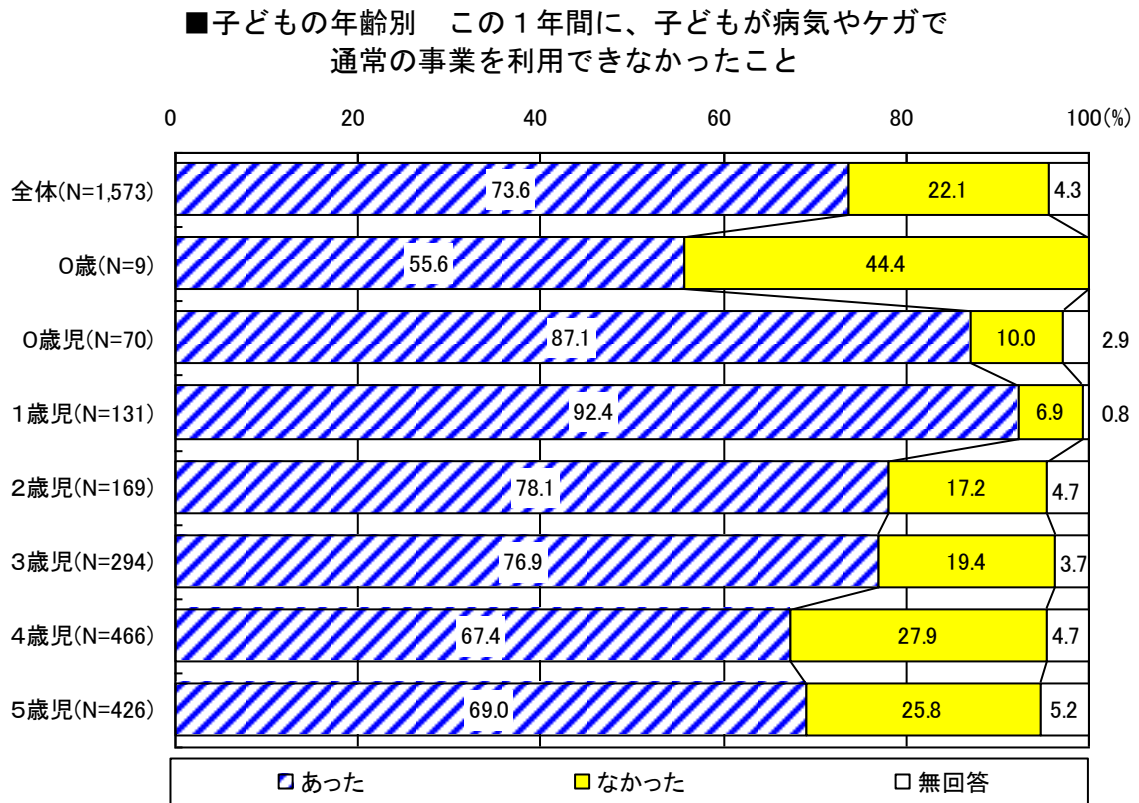
- ② 長期休業中に幼稚園を「ほぼ毎週利用したい」は全体で7.4%、「週に数日利用したい」が53.0%で、合わせて【利用したい】は60.4%。

■ 利用幼稚園別 長期休業中の利用意向

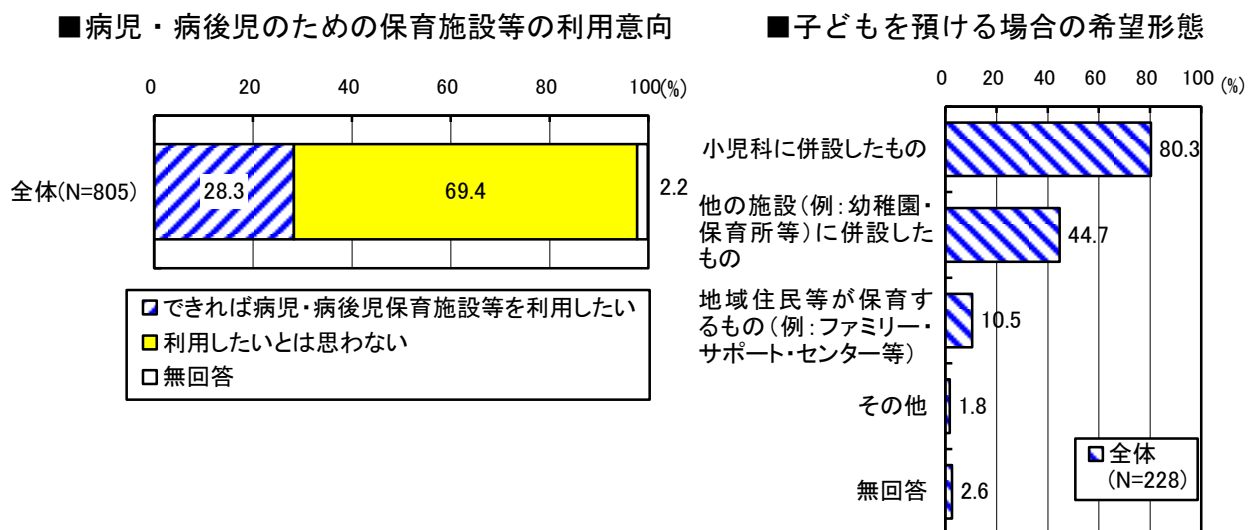


6 病児・病後児保育について

- ① 定期的な教育・保育サービスを利用している子どもの中で、この1年間に、子どもが病気やケガで通常のサービスが利用できなかったことが「あった」率は73.6%で、特に0歳児や1歳児が高い。

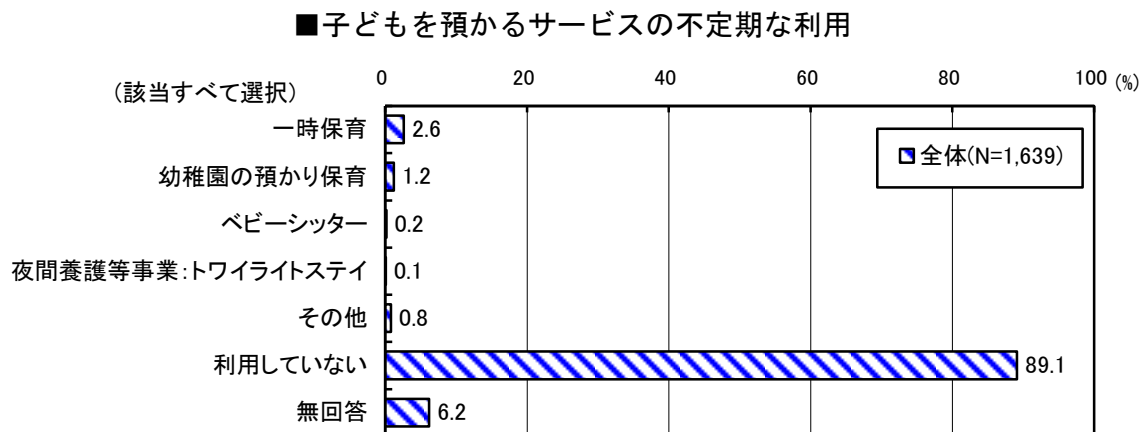


- ② 父親あるいは母親が休んだと回答した人の中で、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」率は28.3%で、預ける形態は「小児科に併設したもの」が80.3%で最も高い。

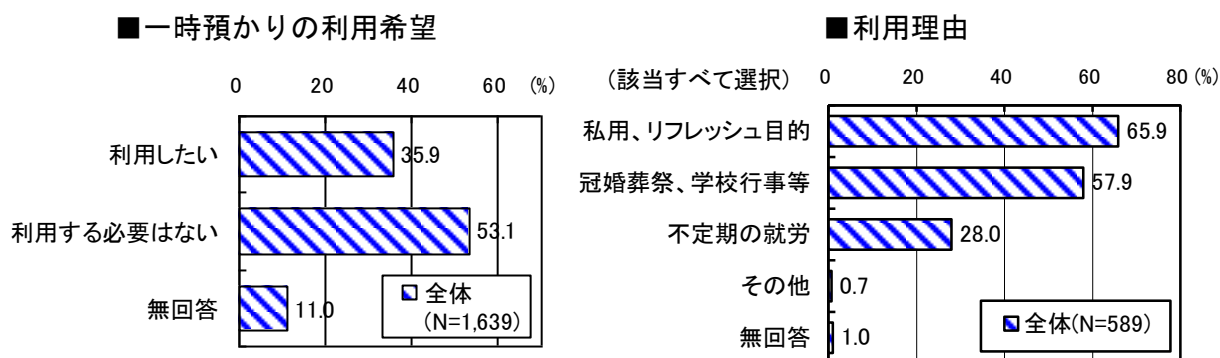


7 一時預かりについて

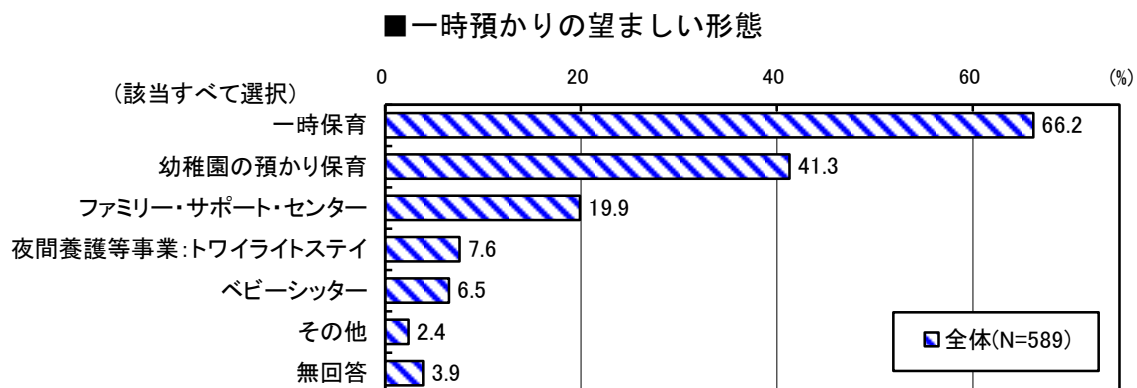
- ① この1年間に、私用や親の通院、不定期の就労等の理由で不定期に利用しているサービスの利用率は、全体で4.7%と低く、その中では「一時保育」が2.6%、「幼稚園の預かり保育」が1.2%など。



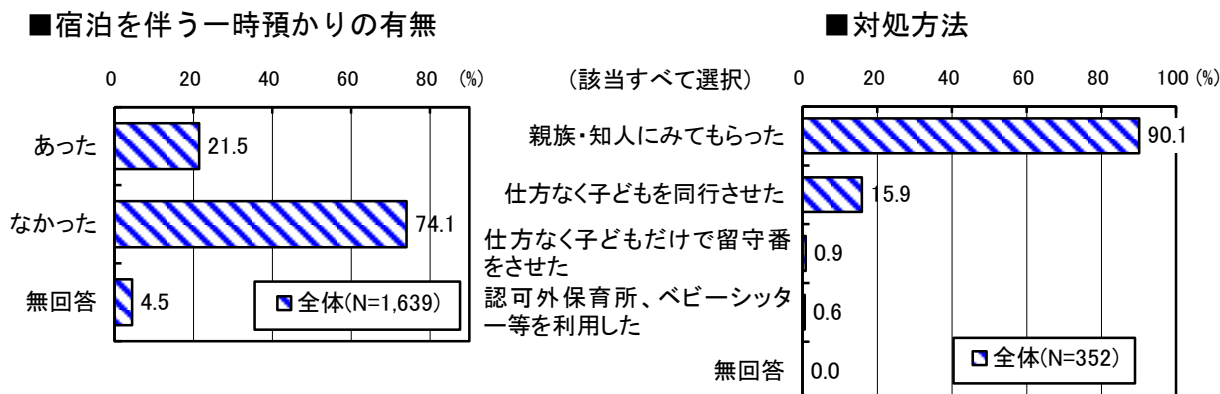
- ② 一時預かりを「利用したい」は35.9%で、その中では「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」が65.9%でトップ、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が57.9%、「不定期の就労」が28.0%など。



- ③ 一時預かりの望ましい形態としては、「一時保育」が66.2%でトップ、次いで「幼稚園の預かり保育」が41.3%、「ファミリー・サポート・センター」が19.9%など。

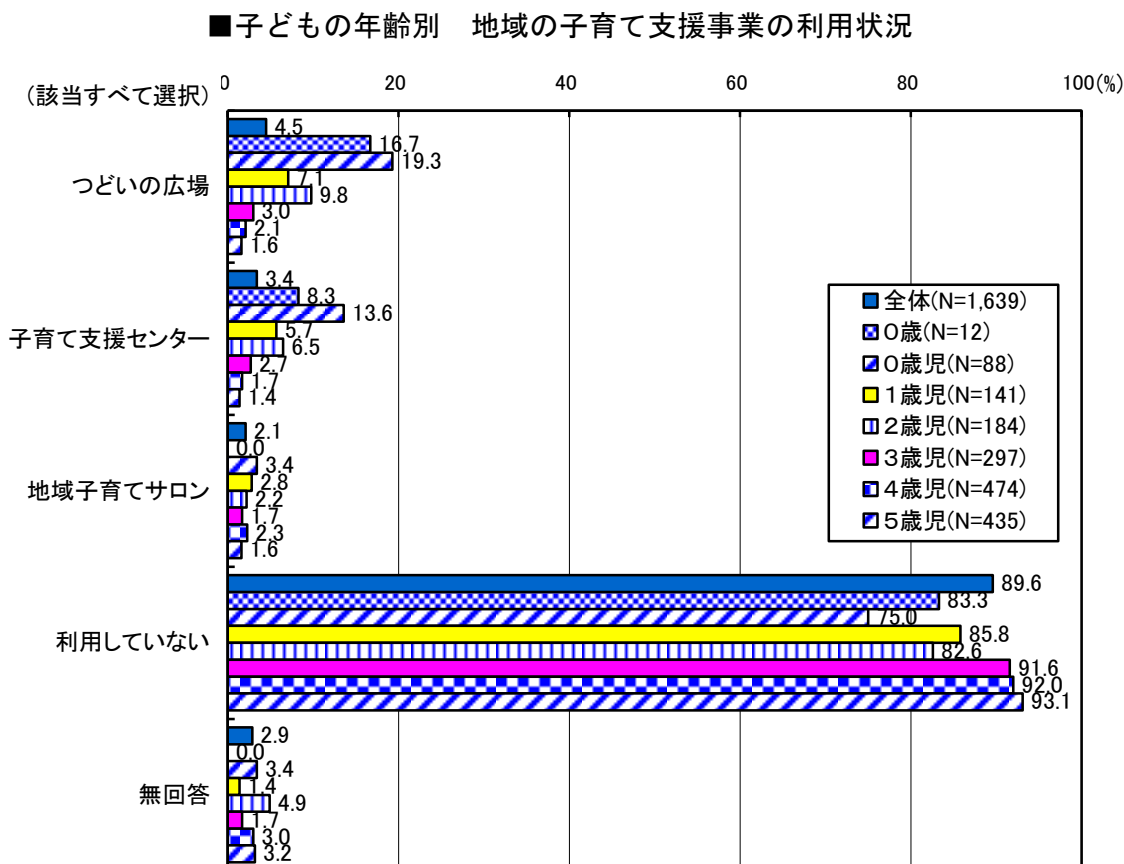


- ④ この1年間に宿泊を伴う一時預かりが「あった」は21.5%で、その対処方法としては「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が90.1%で、これ以外は「仕方なく子どもを同行させた」が15.9%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が0.9%、「認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した」が0.6%。



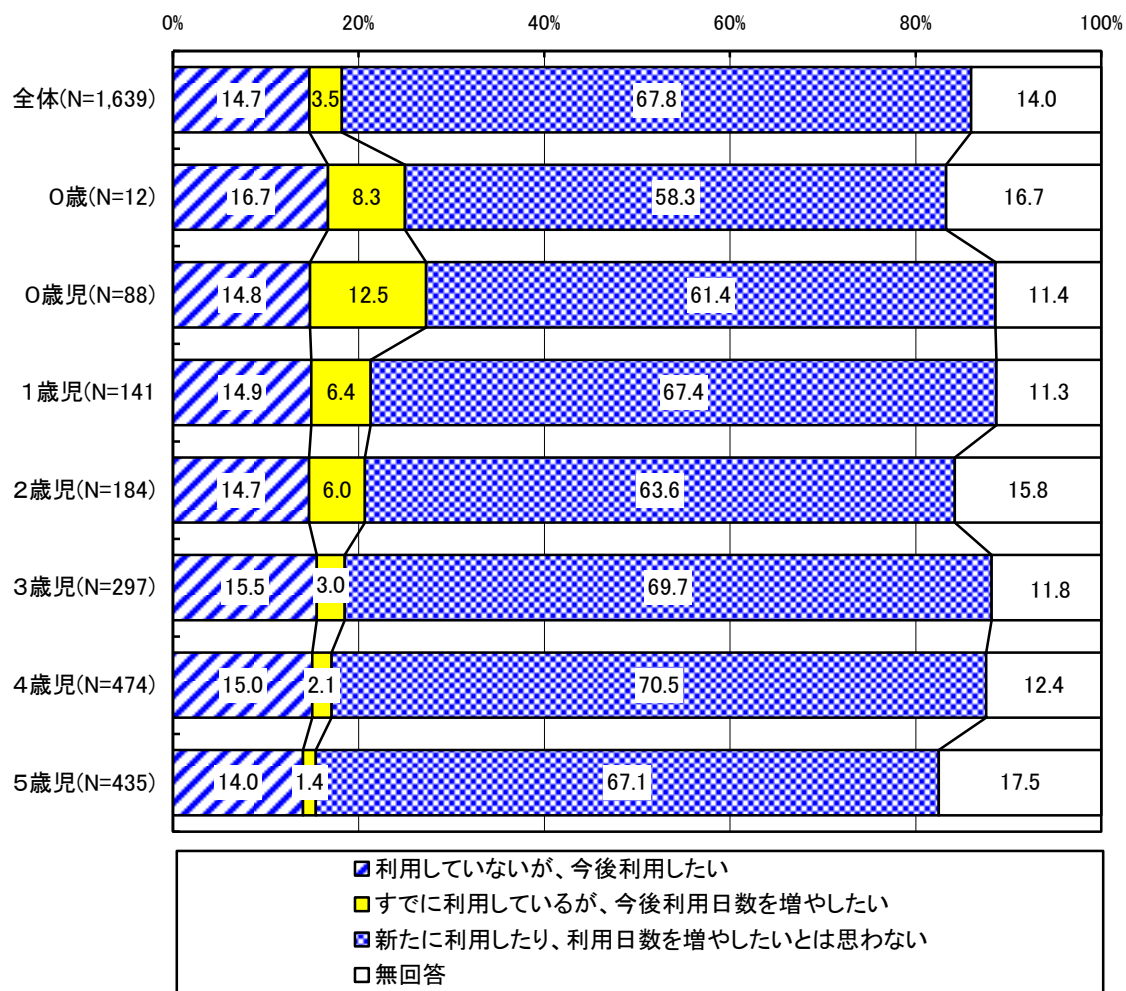
8 地域の子育て支援事業の利用状況について

- ① 地域の子育て支援事業の利用率は7.5%で、0歳児が21.6%で最も高く、0歳児が16.7%、1歳児が12.5%、2歳児が12.5%で、3歳児以上は10%を割る。全体では「つどいの広場」が4.5%で最も高く、「子育て支援センター」が3.4%、「地域子育てサロン」が2.1%。



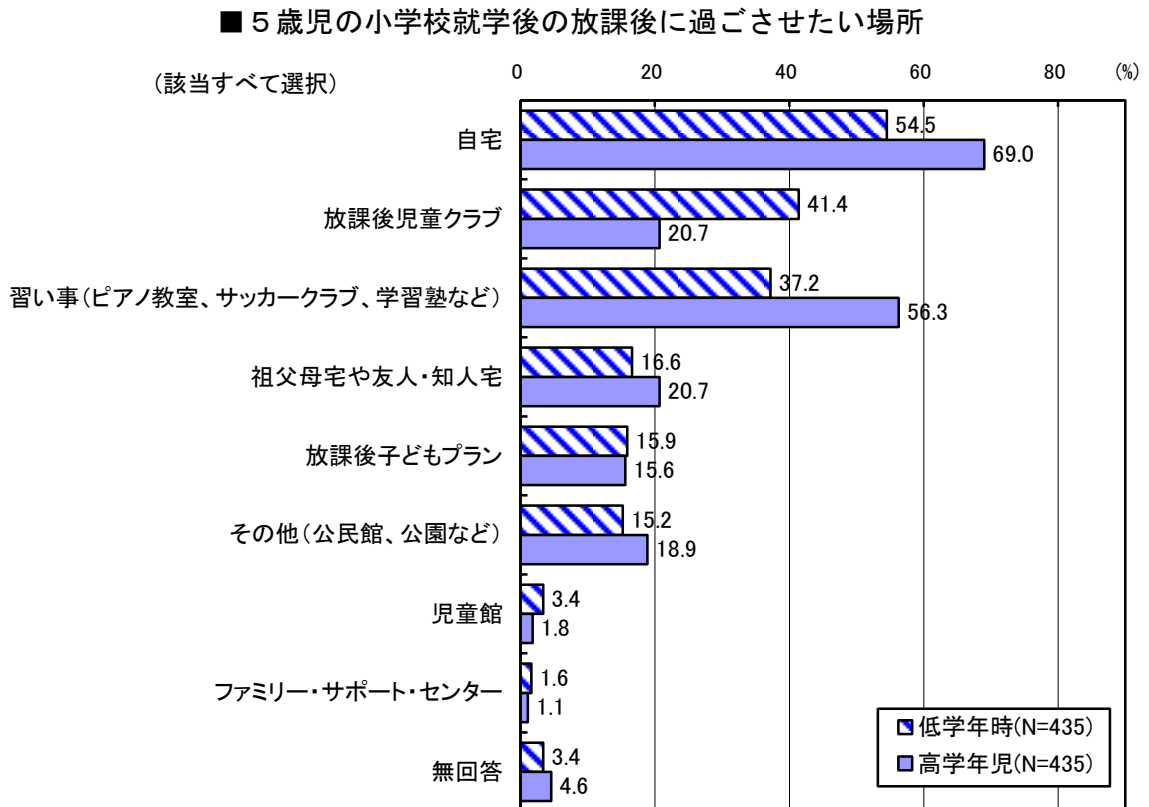
② 地域の子育て支援事業の今後の利用意向は、全体では「利用していないが、今後利用したい」が14.7%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が3.5%。子どもの年齢別では、両方合わせた利用希望率は0歳児が27.3%で最も高く、0歳児が25.0%、1歳児が21.3%、2歳児が20.7%など。

■子どもの年齢別 地域の子育て支援事業の今後の利用意向



9 放課後児童クラブの利用意向

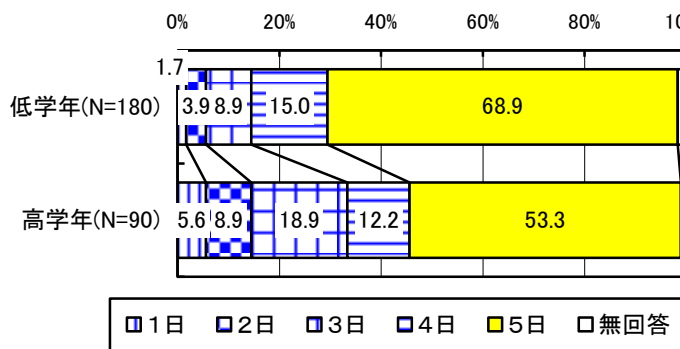
- ① 5歳児の小学校就学後の放課後に過ごさせたい場所として、低学年の時も高学年の時も「自宅」がトップで、それぞれ54.5%、69.0%となっている。次いで低学年の時は、「放課後児童クラブ」が41.4%、「習い事」と続くが、高学年の時は「習い事」が2番目にあげられ、「放課後児童クラブ」は20.7%と低下。



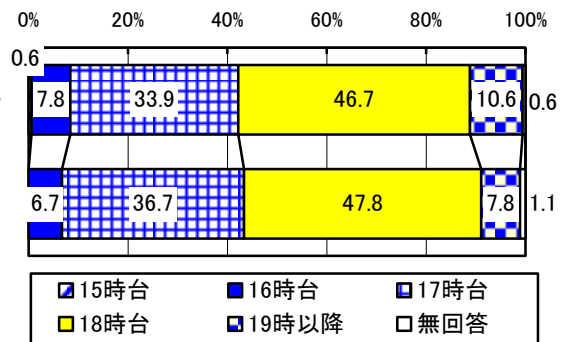
- ② 放課後児童クラブを利用させたいと考えている人は、低学年時も高学年時も1週当たり「5日」の率が最も高いものの、高学年では週の半分以下の「3日」～「1日」が合わせて33.4%とおよそ1/3を占める。

下校時からの利用希望終了時間は、低学年時も高学年時も「18時台」の率が最も高く、「19時以降」も低学年時で10.6%、高学年児で7.8%。

■ 放課後児童クラブの1週当たりの利用希望日数

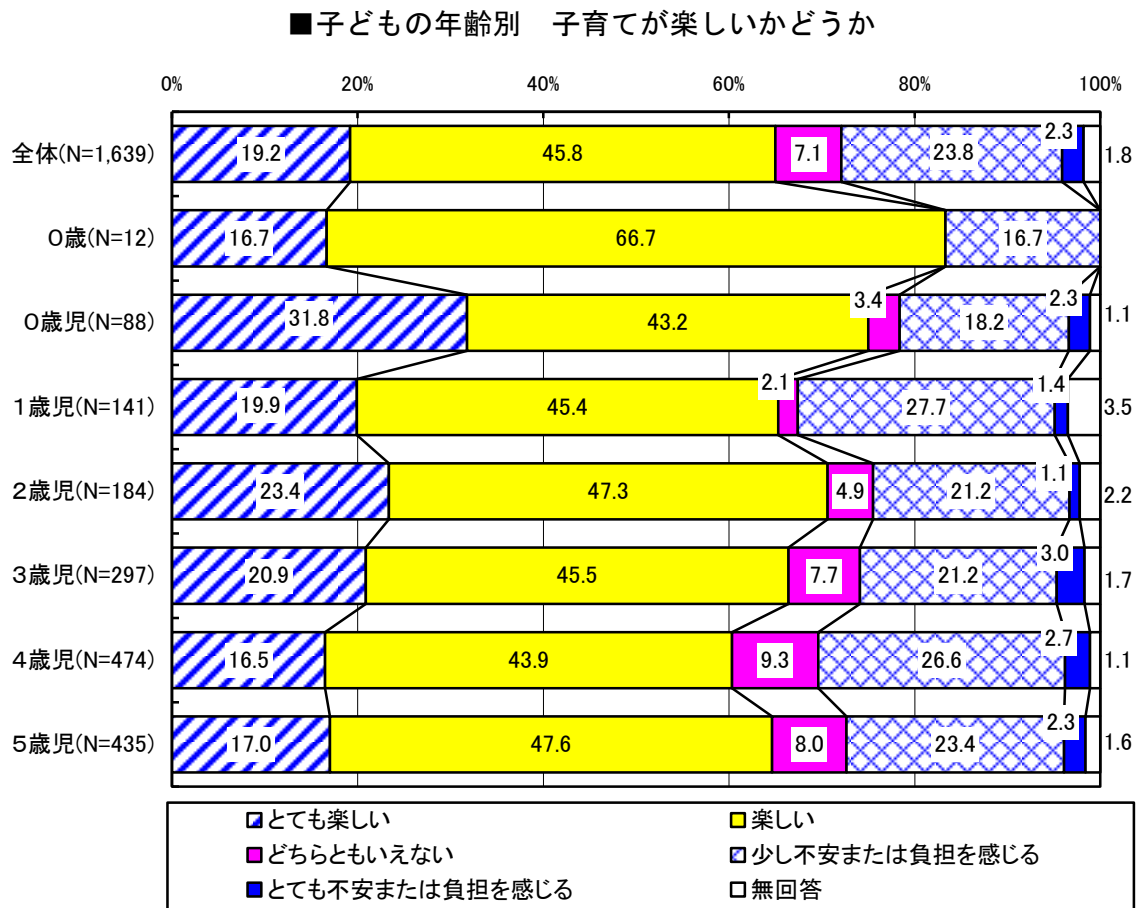


■ 下校時からの利用希望終了時間

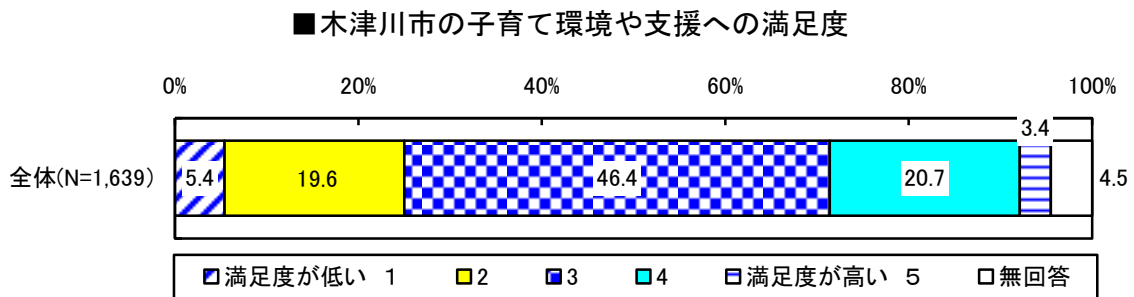


10 子どもの育ちをめぐる環境について

- ① 全体では、子育てが「とても楽しい」が19.2%、「楽しい」が45.8%で、合わせて【楽しい】が65.0%とおよそ2/3。一方、「少し不安または負担を感じる」が23.8%、「とても不安または負担を感じる」が2.3%で、合わせて【不安または負担を感じる】が26.1%。【不安または負担を感じる】率は、4歳児の29.3%、1歳児の29.1%が高く、0歳の16.7%、0歳児の20.5%が低い。

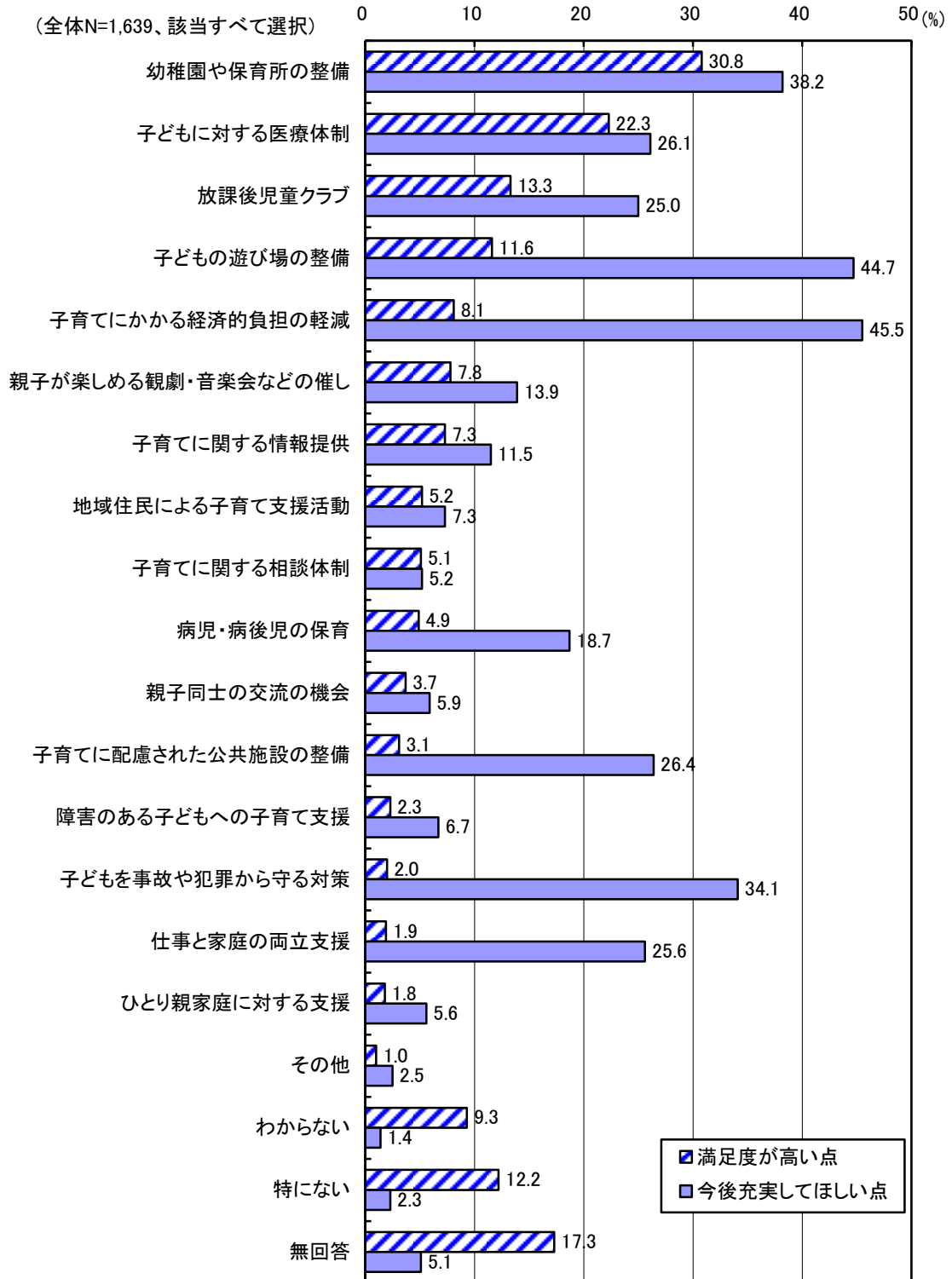


- ② 木津川市の子育て環境や支援への満足度は、「3（普通）」が46.4%で最も高く、次いで「4（やや高い）」が20.7%、「2（やや低い）」が19.6%などで、満足度が【高い】は合わせて24.1%、【低い】は合わせて25.0%で同程度。



③ 満足度が高い点のトップは「幼稚園や保育所の整備」で30.8%、次いで「子どもに対する医療体制」が22.3%、「放課後児童クラブ」が13.3%などと続く。今後、充実してほしい点のトップは「子育てにかかる経済的負担の軽減」で45.5%、次いで僅差で「子どもの遊び場の整備」の44.7%が続き、「幼稚園や保育所の整備」の38.2%、「子どもを事故や犯罪から守る対策」の34.1%などが続く。

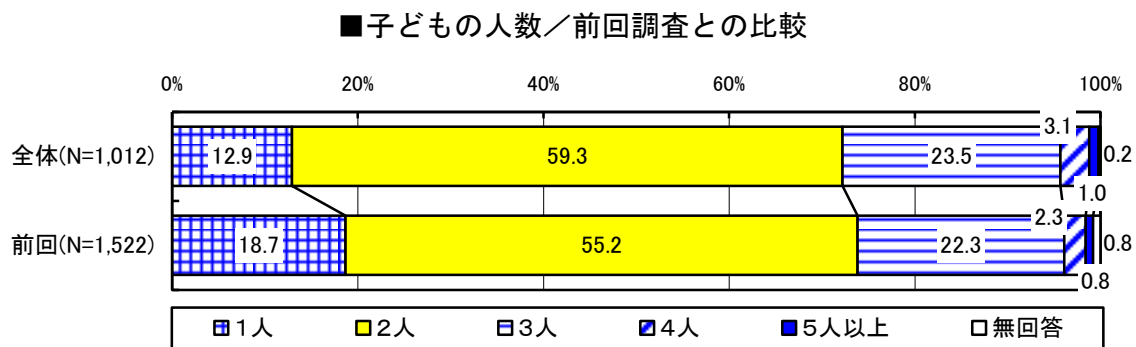
■満足度が高い点、今後充実してほしい点



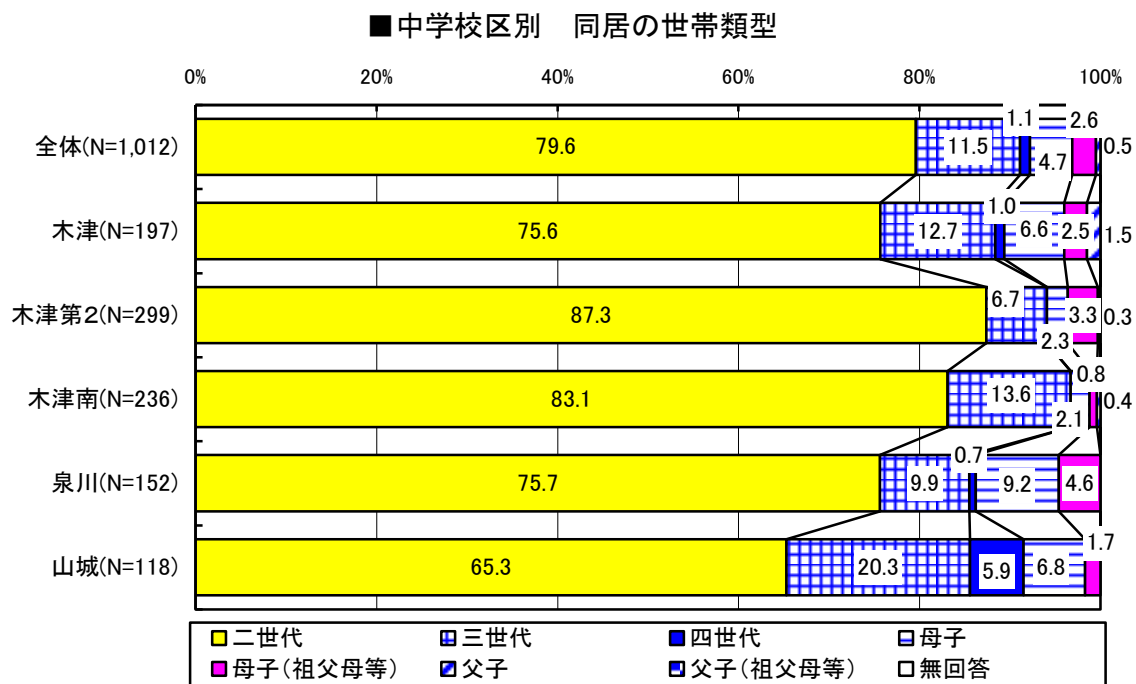
Ⅲ 小学生保護者調査

1 子どもと家族の状況

- ① 1世帯の子どもの人数は、就学前と同様に、前回調査より多い傾向に。平均2.20人、最大7人。

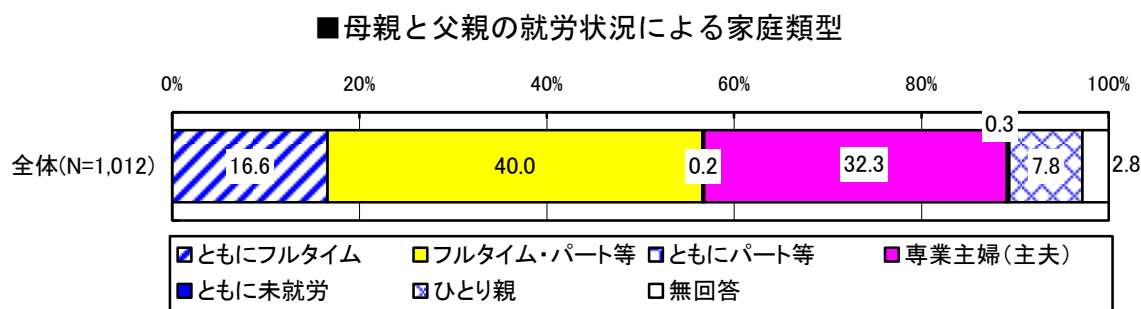
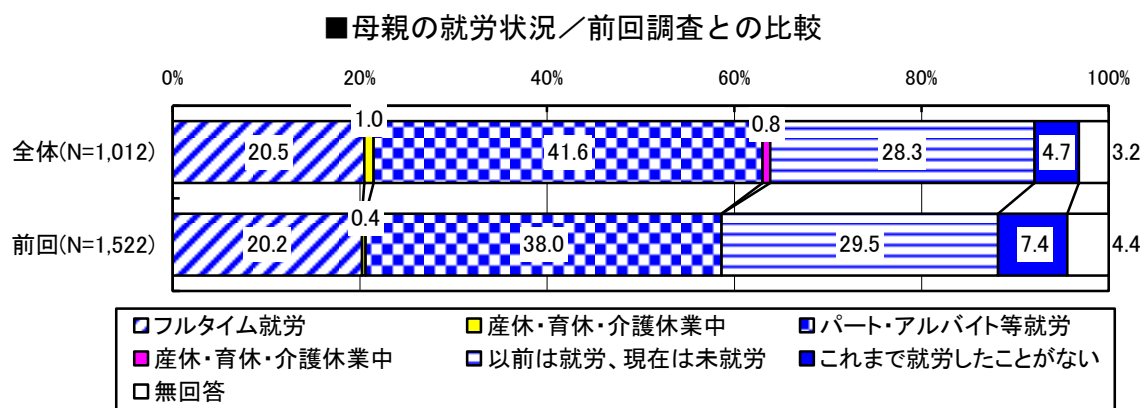


- ② 親と子の「二世帯」世帯が全体では79.6%を占めるが、山城中学校区では65.3%と低く、代わって「三世帯」及び「四世帯」の率が高い。また、ひとり親世帯率は全体では7.8%（就学前の5.6%より高い）となっているが、泉川・木津中学校区ではそれぞれ13.8%、10.6%と高い（山城は8.5%、木津第2は5.9%、木津南は3.3%）。



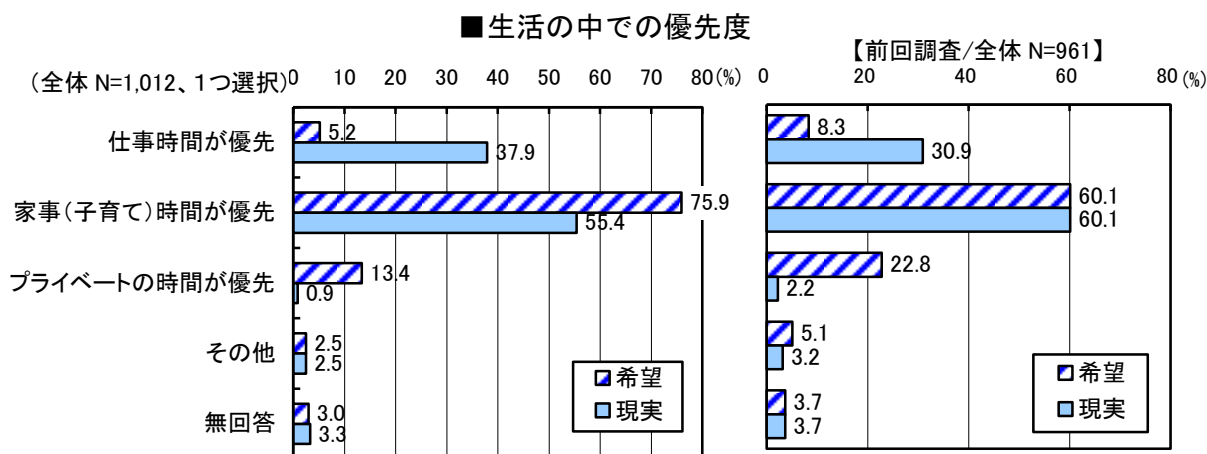
2 母親と父親の就労状況と就労意向

- ① 母親の就労状況では、パート・アルバイト等の率が前回調査より高くなり、就労率は合わせて63.9%（前回調査が58.6%）で、就学前の67.9%より低い。父親の就労率は90.7%で、前回調査の89.4%をわずかながら上回る。

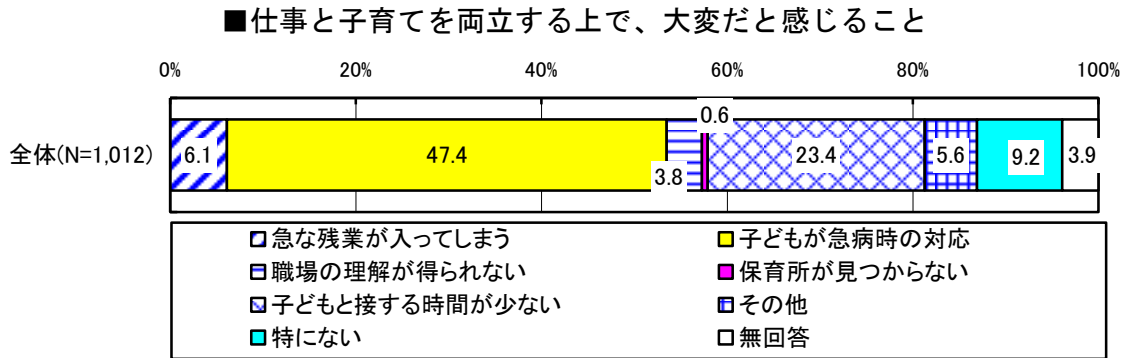


3 仕事と子育ての両立支援について

- ① 生活の中での優先度としては、現実の「仕事時間が優先」は37.9%で、前回調査の30.9%より高く、一方、現実の「家事（子育て）時間が優先」は55.4%で、前回調査の60.1%より低い。これらは就学前と同様の傾向となっている。

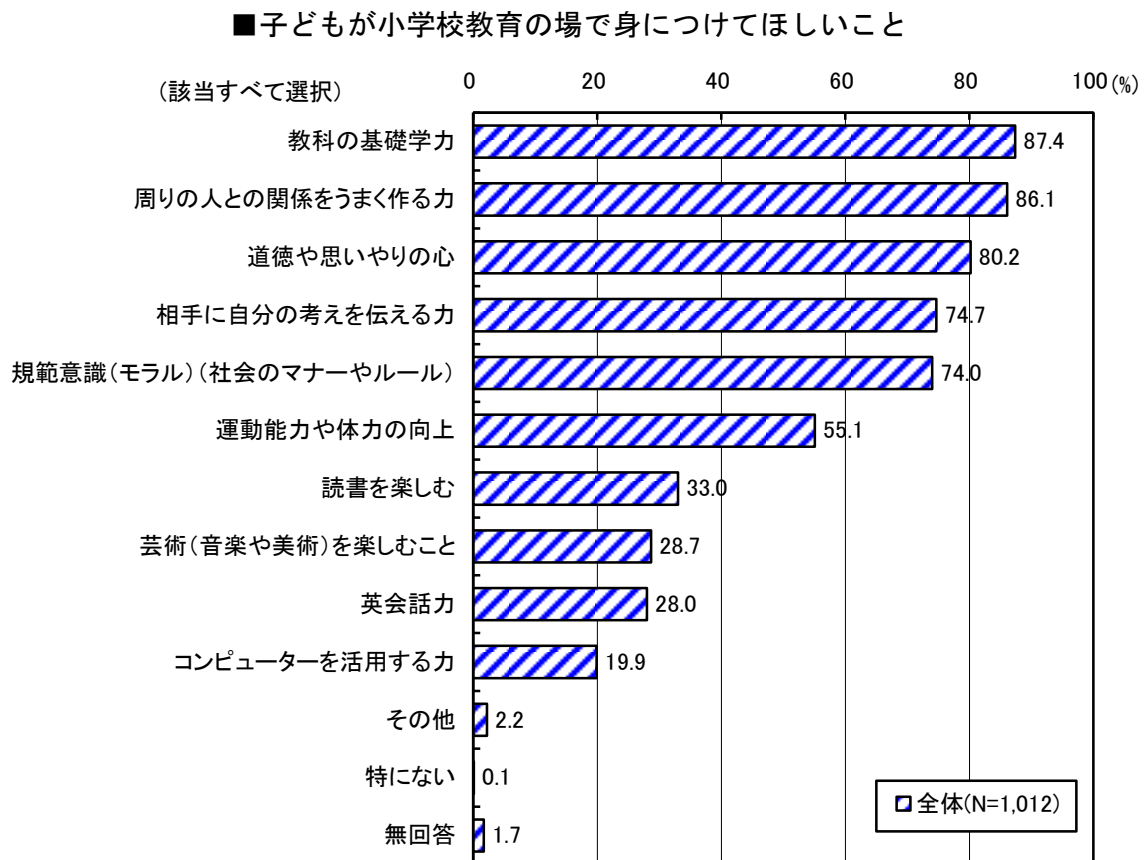


- ② 仕事と子育てを両立する上で、大変だと感じることは、「子どもが急病時の対応」が51.6%でトップ、次いで「子どもと接する時間が少ない」が24.7%など。



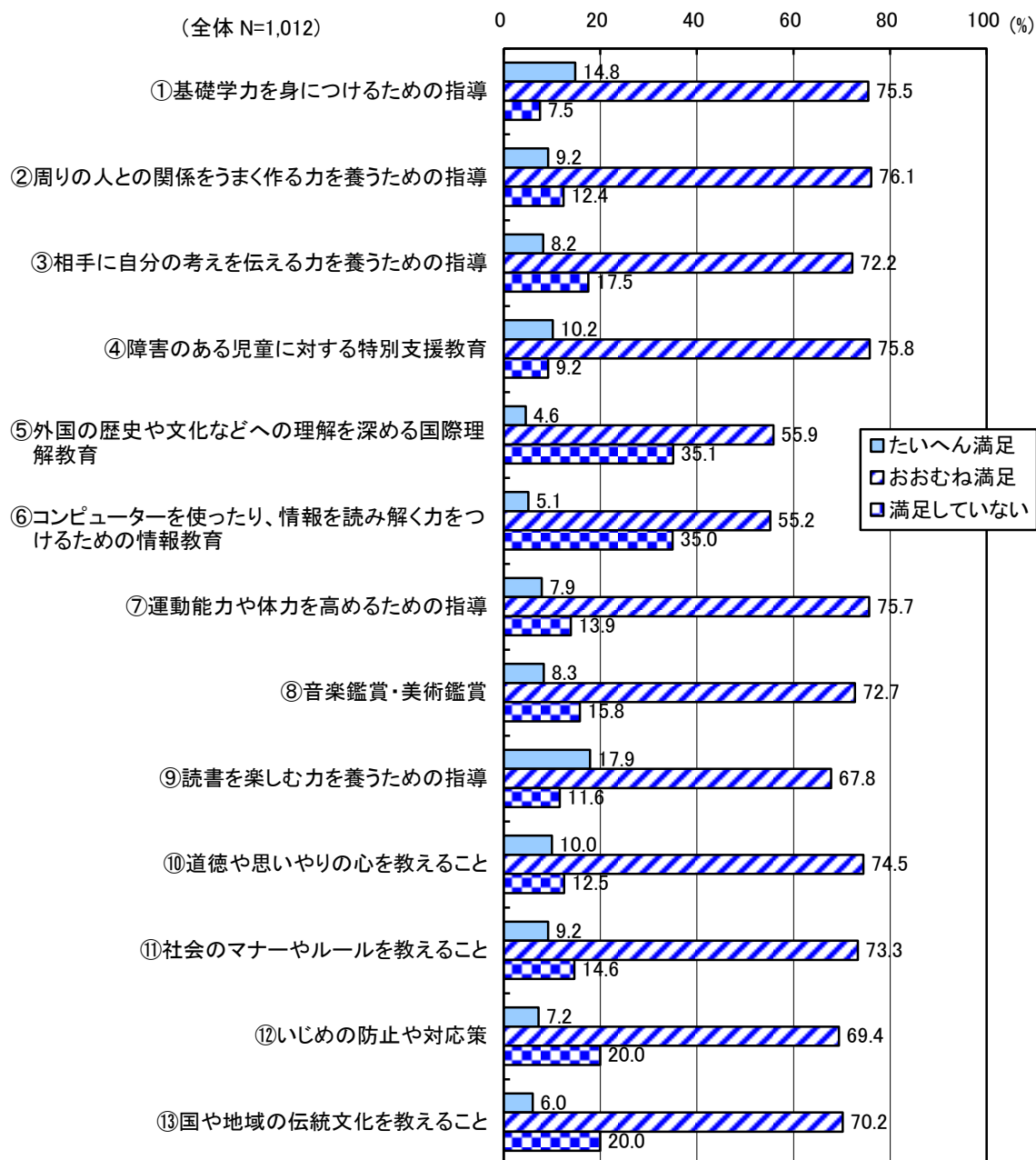
4 小学校の教育について

- ① 子どもが小学校教育の場で身につけてほしいことは、「教科の基礎学力」が87.4%でトップ、次いで「周りの人との関係をうまく作る力」が86.1%と僅差であげられ、「道徳や思いやりの心」が80.2%、「相手に自分の考えを伝える力」が74.7%、「規範意識(モラル)(社会のマナーやルール)」が74.0%など続く。



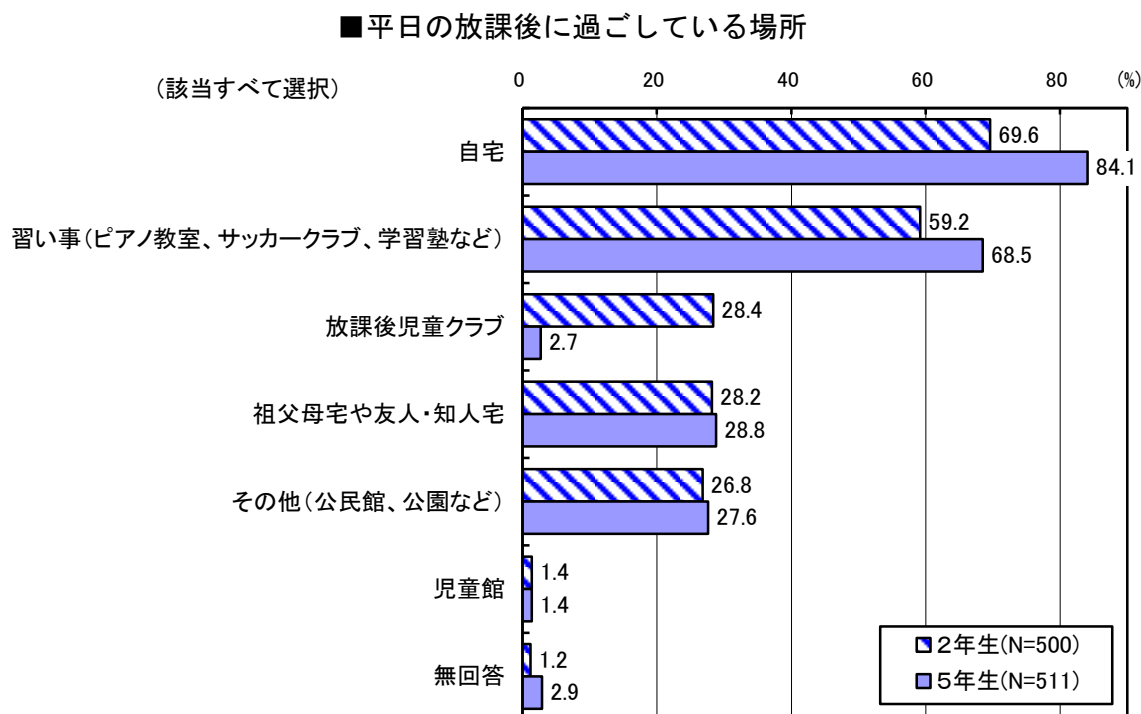
② 子どもが通う小学校について、ほとんどの項目で「たいへん満足」及び「おおむね満足」を合わせた満足率が80%を超えるが、その中で特に高いのは「基礎学力を身につけるための指導」で90.3%となっている。一方、満足率が70%を割って相対的に低いのは、「コンピュータを使ったり、情報を読み解く力をつけるための情報教育」(60.3%)や「外国の歴史や文化などへの理解を深める国際理解教育」(60.5%)となっている。

■子どもが通う小学校の満足度



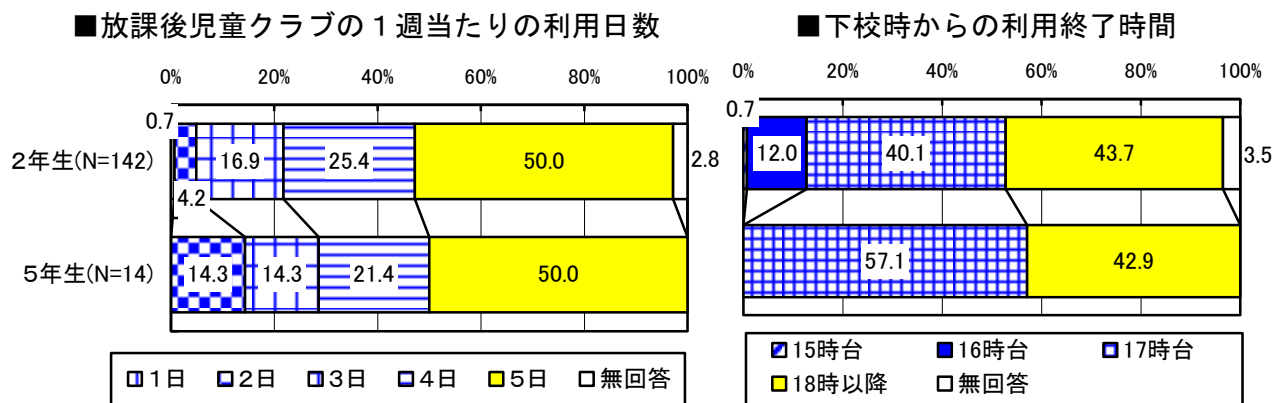
5 放課後の過ごし方について

- ① 平日の放課後に過ごしている場所は、2年生及び5年生ともに「自宅」がトップで、それぞれ69.6%、84.1%となっている。次いで「習い事」のそれぞれ59.2%、68.5%が高い。「放課後児童クラブ」は2年生では28.4%となっているが、5年生は2.7%と低い。

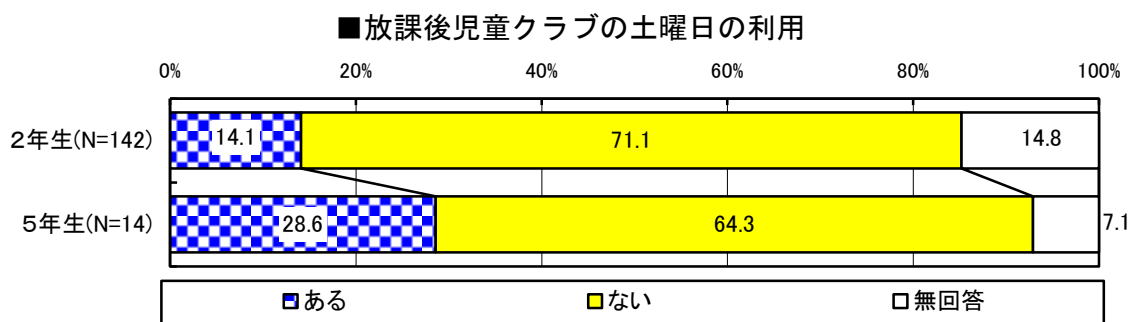


- ② 放課後児童クラブの利用者は、2年生も5年生も1週当たり「5日」の率が最も高いものの、週の半分以下の「3日」～「1日」が合わせてそれぞれ21.8%、28.6%となっている。

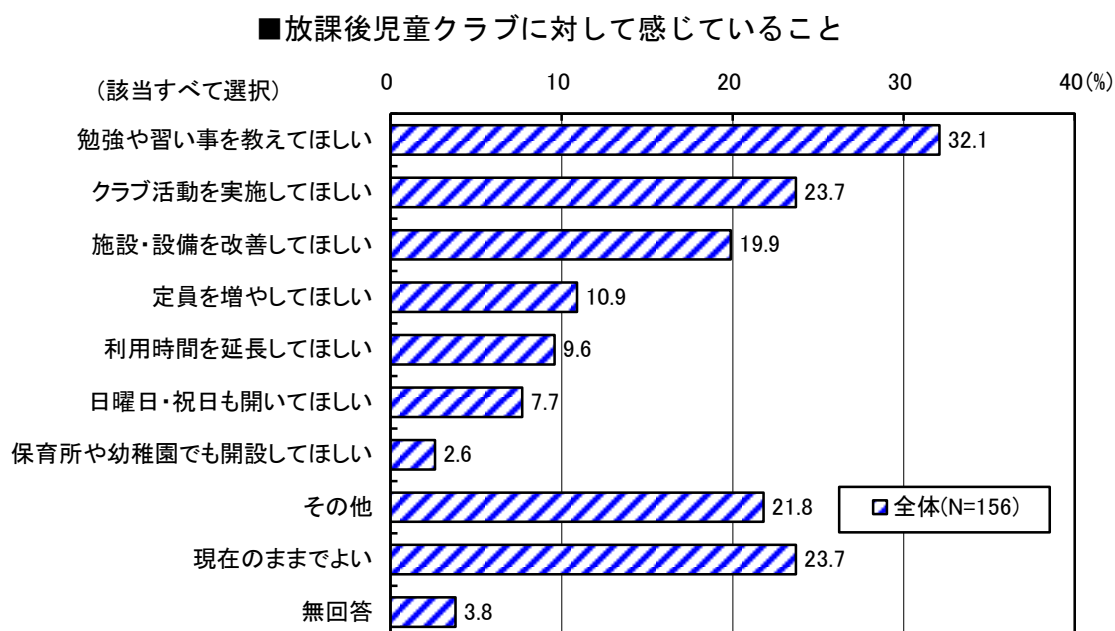
下校時からの利用終了時間は、2年生は「18時以降」が43.7%、「17時台」が40.1%などで、5年生は「17時台」が57.1%、「18時以降」が42.9%。



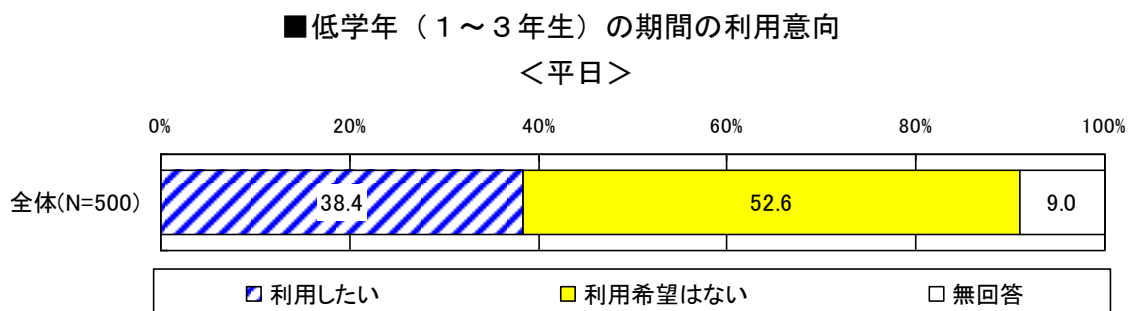
③ 放課後児童クラブを土曜日に利用している率は、2年生が14.1%、5年生が28.6%。



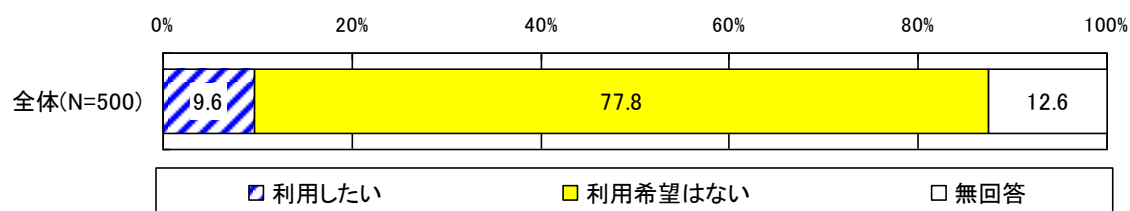
④ 放課後児童クラブの利用者が、放課後児童クラブに対して感じていることは、「勉強や習い事を教えてほしい」が32.1%でトップ、次いで「クラブ活動を実施してほしい」が23.7%、「施設・設備を改善してほしい」が19.9%など。



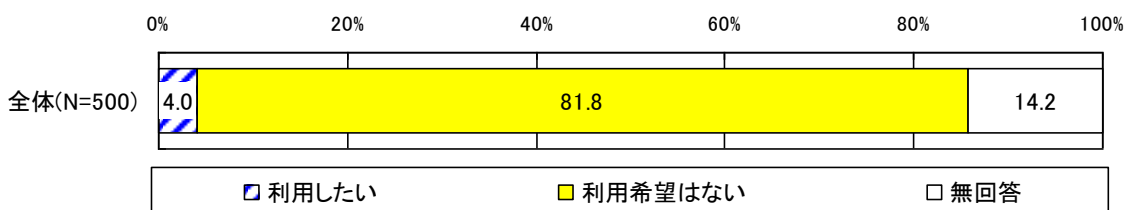
⑤ 低学年の期間に放課後児童クラブを「利用したい」率は、平日が38.4%、土曜日が9.6%、日曜日が4.0%、夏休みなどの長期休業が54.6%で、夏休みなどの長期休業の利用希望率が最も高い。



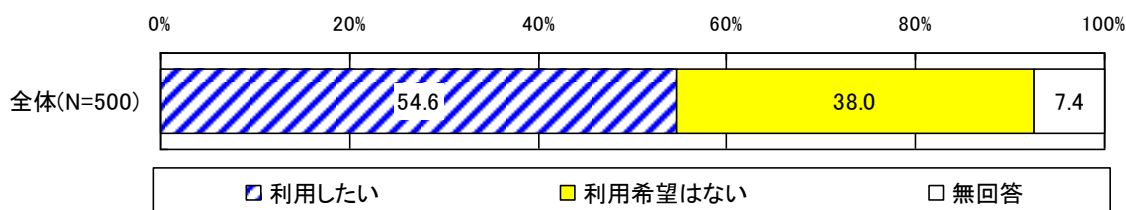
<土曜日>



<日曜日>



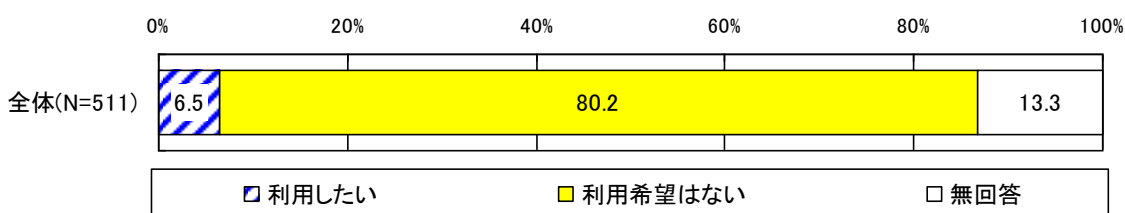
<夏休みや冬休みなど長期休業>



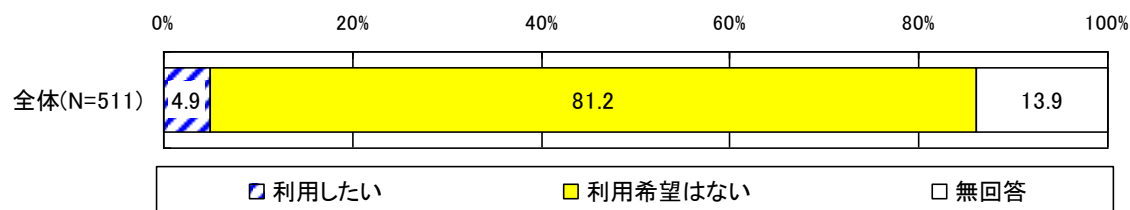
⑥ 高学年の期間に放課後児童クラブを「利用したい」率は、平日が6.5%、土曜日が4.9%、日曜日が1.8%、夏休みなどの長期休業が23.5%で、低学年の期間と同様に、夏休みなどの長期休業の利用希望率が最も高い。

■高学年（4～6年生）の期間の利用意向

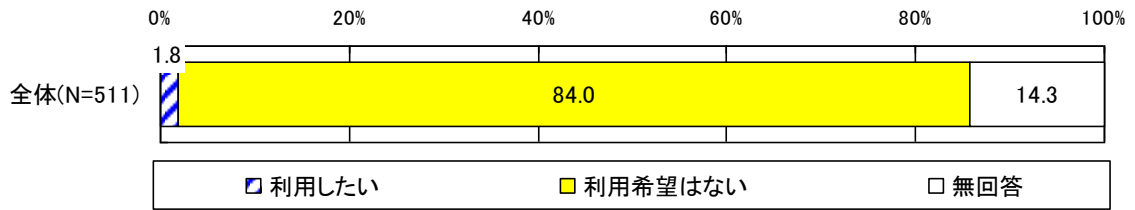
<平日>



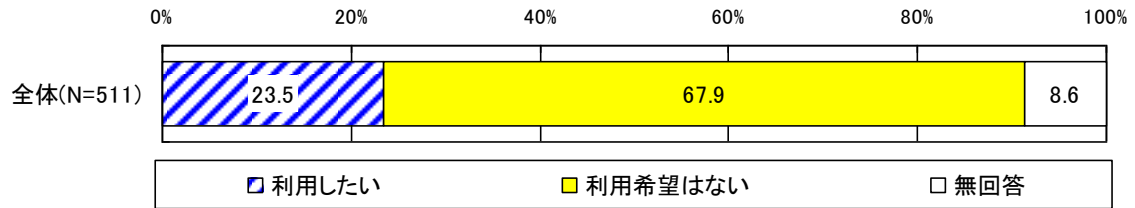
<土曜日>



<日曜日>



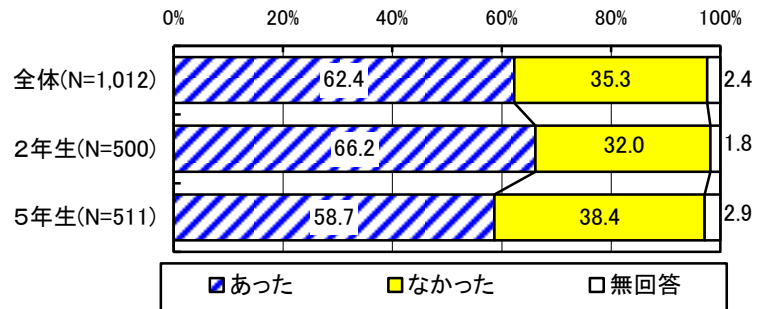
<夏休みや冬休みなど長期休業>



6 病児・病後児保育について

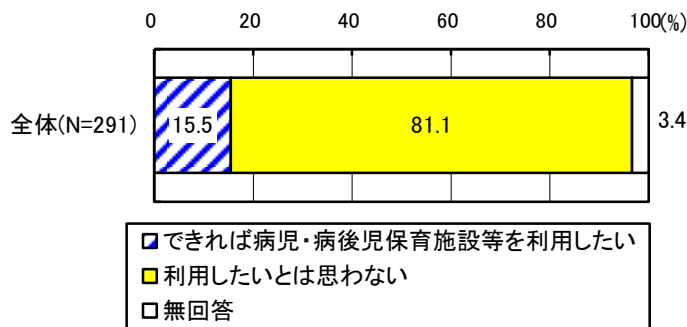
① この1年間に、子どもが病気やケガで学校を休んだことが「あった」率は、全体で62.4%、2年生の方が高い。

■この1年間に、子どもが病気やケガで学校を休んだこと

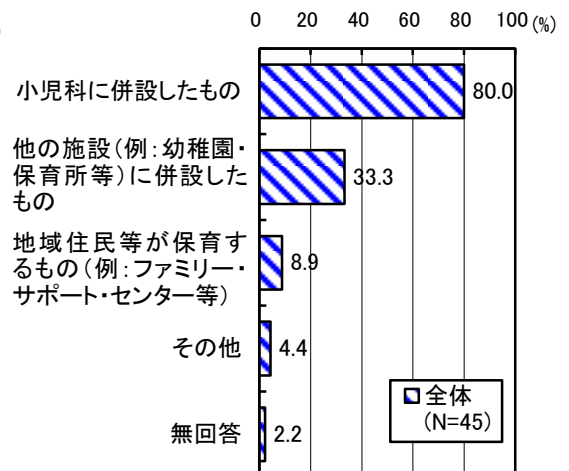


② 父親あるいは母親が休んだと回答した人の中で、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」率は15.5%で、預ける形態は「小児科に併設したもの」が80.0%で最も高い。

■病児・病後児のための保育施設等の利用意向

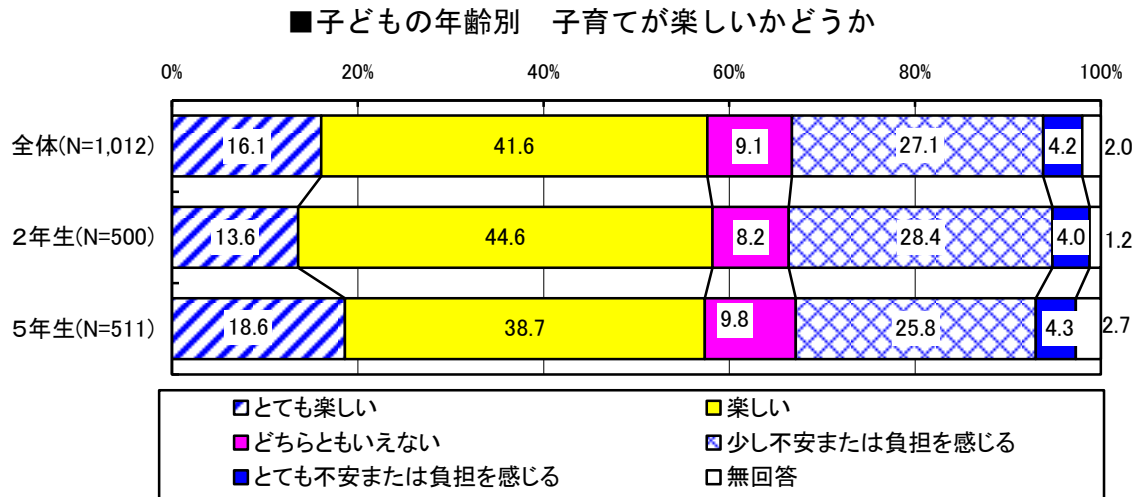


■子どもを預ける場合の希望形態

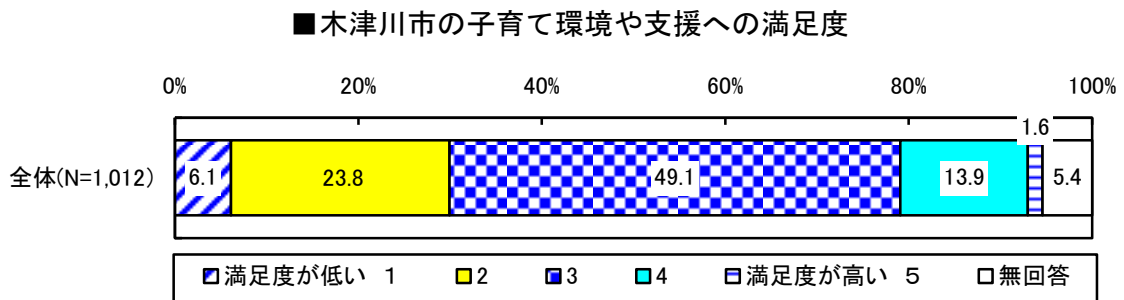


7 子どもの育ちをめぐる環境について

- ① 全体では、子育てが「とても楽しい」が16.1%、「楽しい」が41.6%で、合わせて【楽しい】が57.7%で、就学前より7.3ポイント低下。一方、「少し不安または負担を感じる」が27.1%、「とても不安または負担を感じる」が4.2%で、合わせて【不安または負担を感じる】が31.3%で、就学前より5.2ポイント高い。



- ② 木津川市の子育て環境や支援への満足度は、「3（普通）」が49.1%で最も高く、次いで「2（やや低い）」が23.8%、「4（やや高い）」が13.9%などで、満足度が【高い】は合わせて15.5%、【低い】は合わせて29.9%で、【低い】ほうが高い。



- ③ 満足度が高い点のトップは「子どもに対する医療体制」で22.6%、次いで「放課後児童クラブ」が14.3%、「幼稚園や保育所の整備」が12.5%などと続く。今後、充実してほしい点のトップは「子育てにかかる経済的負担の軽減」で50.8%、次いで「子どもを事故や犯罪から守る対策」の40.3%、「子どもの遊び場の整備」の36.5%、「子どもに対する医療体制」の31.9%などが続く。

■満足度が高い点、今後充実してほしい点

